滿洲日報
夕刊
五月二十八日

拓務省を廢止し 關東廳も局部課廢合

事務簡捷に伴つて官吏を減員

與黨の行整方針決定

【東京二十八日發】民政黨は二十七日午後政務調査總會を開き行政整理案につき審議の結果左の如く決定した

整理の方針

根本的大整理をなし政務及事務の簡捷、合理化、能率增進を圖り經費を節減し整理に從ひ何等の情實に囚はれず來年度豫算にその結果を現はし得るものたること

各省の廢合

農林省と商工省とを合併して産業省とし拓務省を廢止し、その事務の性質に從ひ各省にこれを分ち移り の事務については內閣の一局としてこれに長官を置き朝鮮は總理大臣これを監督しまた鐵道省、遞信省の交通事務並に內務省內交通に關する事務はこれを併合して交通省となす無任所大臣二名以內を置き總理大臣を輔佐し政務の統一を圖り豫算爭奪各省間の弊を矯止す

事務の簡捷

事務の徹底的簡捷を圖り諸法規を改正し、會計事務、許可、認可等の手續を簡易化しこれを斷行すると共に官吏を減員すること、各省內及朝鮮、臺灣、關東廳、南洋廳の局部課並に地方官廳(樺太廳は內務省に屬せしめる)の局部課の廢合整理を斷行すること

教育制度の改革

教育制度の改革並に教育費の節減のため學科を整理し中等學校より大學までの修業年限を短縮し學問の蘊奧を極めまたは特殊の學術研究のため一、二の官立大學を存しその他の官立大學を獨立經營となし高等學校は漸次これを大學豫科として整理し東京、廣島文理科大學を師範大學とし高等師範並に師範學校の第一部を廢止す、なほ官公立中等學校の教員の定員を整理し實業補習學校と青年訓練所との併合をなすこと、教科書その他生々徒の負擔に歸する教育費節減を圖ること

農林省の官吏が共濟組合を設立

生活費を輕減する爲

【東京二十八日發】農林省の減俸反對運動實行委員會は二十七日對策協議を行つた結果運動打ち切りに際し今回の減俸により受くる生活上の苦痛を自治的に輕減するため農林省內に共濟的經濟團體を組織する事に決定した、この團體は將來省內各種の交渉團體となり消費組合互助組合等に活動する筈

檢事待遇要求

上司に一任す

【東京廿八日發】東京地方裁判所檢事二十餘名は廿七日協議の結果檢事は判事の如く…上司に…

霧社事件顚末

上奏

【東京二十九日發】原拓相は二十八日午前十一時半參內拜謁の上陛下に拜謁の上霧社事件の後始末完了顚末を委曲上奏した

減俸案を決定した重要閣議

目下問題となつてゐる官吏減俸案決定の定例閣議は廿六日午前十時から首相官邸において開會された、寫眞は正午閣議休憩時に撮影右から井上、江木、幣原、小泉、若槻、安保、渡邊、南(武內法制局長官)原の各大臣及川崎書記官長

東京市吏員も減俸

【東京特電二十八日發】東京市當局では政府今回の減俸案は教職員以外市町村吏員に關しては何等規程してゐないが當然市吏員にも準用すべきだとし、目下實行案を練…

同一待遇を受けて來た事は司法部內の傳統であるとて今回の差別待遇撤回を要求すべくその方法は上司に一任し成行を靜觀する事に決定した

減俸反對運動は全く終熄す

現業員統制部も解散

【東京二十八日發】減俸反對運動の中心になつて活動した鐵道現業委員統制部は二十七日午後二時品川車掌所に集合目的の大部分を達したものとして正式に解散式を行つた

つてゐるが、東京市の吏員は去る昭和四年以來昇給延期、昇給率半減等手當、特別手當旅費二、三割減斷行で旣に平均一割強の收入減を來たしてゐるのでこの上に官吏の減俸率その儘適用する事は酷だとしこの點多少の手心を加へられる模樣でこの結果浮ぶ額は三十萬圓と見積られてゐる、實施は七、八月になる模樣で市立中等學校教職員については減俸率も實施期も政府の決定案に從ひ市立小學校教職員は文部省の決定に從ふ筈

商工省も反對運動打切

【東京二十八日發】二十七日午後の商工省反減俸實行委員會は協議の末結局課長の勸告を容れ大臣を信賴して辭表提出を撤回し實行委員會を解散して反對運動を中止することに決し、この機會に昇給、諸手當實施等を從前通りとする事を商相に要求した處商相もこれを諒とし話合ひ成立し反對運動は二十七日を以て愈々打切となつた

高等學校入學驗試課目

【東京廿八日發】高等學校長會議第三日は廿七日文部省學士院に開會入試課目につき左の如く決定した選定試驗課目は四課目とし文部省にて中學校第四學年以下の必修課目より選定毎年十二月十日前後官報を以つて告示する事

廣東、南京兩政府 愈よ武力對抗

南京の對廣東策決定

【南京廿七日發】本日の中央政治會議は廣東政府成立の對策協議の結果左の如く決定した

一、廣東政府を假政府と認め討伐令を發す

二、蔣介石氏の國民政府主席、陸海空軍總司令の位置を擁護す

三、內亂終了まで內地在住外人の生命財產保護は國民政府に於て保護す

四、廣東假政府に武器賣却その他物質的援助を爲さゞるやう列國に通告すること

五、鄧澤如、古應芬、蕭佛成、林森、孫科、鄒紀文等廣東側に加擔せるものを中央委員より除名し逮捕令を發す

六、以上各條中一央に關するものは全體會議の事後承諾を得たる上正式のものとする

右の如く南京側は中央政府の立場として廣東政府を眞向から否定してゐるが國內に二個の政府對立するに至つた事は否み得ぬ事實で支那はまたもや武力鬪爭の動亂へ逆戾りとなつた

一、國民政府は中央黨部より選出しその組織を次の如く爲す委員の定數を十五名とし、汪精衛、古應芬、唐紹儀、陳濟棠、李宗仁、鄧澤如、林森、蕭佛成、孫科、陳友仁、王寵惠、鄒魯、許崇智の十三名と他の二名を東北及び某軍將領中より任命する國民政府に五院を設け行政の下に各部を置くその他各院及各機關は大體南京國民政府と同じ國民政府には主席を設けず、常務委員五名を得て一切を處理せしむ、常務委員として五名を任す(汪精衛、唐紹儀、孫科、古應芬、鄒魯諸氏)

一、國民政府は二十八日で成立を告げ中外に聲明し廣東省政府もこれと同時に改組する、その細法は追つて之を定む

一、討蔣聯合軍總司令を設け某々方面の將領に討蔣加盟の電報を發する

一、蔣介石が四十八時間以內に下野を聲明せざる場合は國民政府成立後いよ〳〵六月一日北伐軍…

廣東の北伐軍は來月一日に出動

非常執監會議で決定

【上海特電二十七日發】香港來電によると、昨夜汪精衛、古應芬、陳濟棠、孫科、鄧澤如諸氏二十四名は第二次執監委員非常會議を開き討論の結果左の方針を決定した

一、中央黨部は執監委員を以てこ…

對外人不動產契約 十年後に一切停止

遼寧當局各縣に通令

外人との土地、家屋、商租の紛糾を避ける爲遼寧省は民國廿九年(昭和十五年)を限り既往の契約を一切停止し商租してはならぬと各縣に通令した(奉天電話)

馮閻代表 討蔣會議に參加

【香港二十七日發】廣東で報ぜられるところによると馮玉祥、閻錫山兩氏は秘密裡に協議の結果代表を廣東討蔣會議に參加せしめることゝなり馮代表黃鉞雄氏、閻代表傅作義氏は二十五日廣東に着いた、なほ馮、閻兩軍は兩廣東の蹶起と同時に南下を始めると傳へられてゐる、なほ江西の蔣光鼐、蔡廷鍇氏は討蔣軍に加盟に決し陳濟棠氏にその旨通じて來た

蔣氏自ら督戰

【南京二十七日發】蔣介石氏は廣東討伐のため近く敎導第一師を率ゐ總司令部を漢口に進め督戰する事となつた

駐奉露總領事も本國に召還命令

對滿政策轉換協議

【ハルビン特電二十八日發】曩にエムシヤノフ、メリニコフ兩氏本國に召還されて間もなく、同率天勞農領事ズナイメンスキー氏及び東支理事會支部長ブムビンスキー氏も歸國命令に接したとの噂專ら起り一般に一大ショックを與へた斯の如くソウエート要人の頻々たる歸國は露支會議における東支買收問題に關聯あり卽ち東支が昔日の如き重要性を持たなくなつた今日、對滿蒙政策の一大轉換を行ふべく意見を徵するものと見られて居る

佛外相留任

【パリー二十七日發】一時引退を傳へられたフランス外相ブリアン氏は二十七日正式留任に決した

陸軍の機械化で騎兵無用となる

ロシア國民は疲れてゐる

大谷大佐歐洲視察談

陸軍士官學校教官步兵大佐大谷龜藏氏は約六ケ月の豫定で歐洲視察中であつたがシベリヤ鐵道經由廿八日着連直に同日出帆ばいかる丸にて歸朝の途に就いた、剌を通ずると歐洲各國の軍狀につき語る

昨年の十二月に出發したのだがらホンの見て來たといふに過ぎない、歐洲各國の陸軍殊に近代式兵器につき見學して來た、まづ英國の陸軍は目下陸軍の機械化に 懸命で砲兵、步兵は總て自動車を利用して敏速な行動をとる事を演習してゐる、從つて今迄の騎兵は自然効力を失ふ事になるのだ、陸軍軍隊機械化のトップを切つて英國では一ケ旅團の軍隊全部をこの新式樣式で訓練してゐるが、英國の陸軍側では特に自分につてよく見せてくれた、外國武官には初めて見せたのださうだ次にドイツを見て來たがドイツの兵器工場殊にツエッペリン工場の如きは大したもので丁度自分の行つた時はイタリーよりの注文を受けた百人乘飛行機一臺並にDX型飛行船二臺を一時に製造しつゝあつた、その製造能力の偉大なのには吃驚したよ

次に ロシアを 見たがロシアの軍備は世間が思つてゐるよりは遙かに眞面目だ、だが國民全體が非常に疲れてゐるのには驚いた、これは一體何を語るのだらう自分は興味をもつて歸つた

普蘭店校長後任

普蘭店尋常高等小學校長井神貞一氏は過般死亡により二十八日大連大廣場小學校訓導小高兵司氏がその後任に補ぜられた

沿線事情を詳に視察

塚本長官出發

塚本關東長官は旣報の如く赴任後初めての沿線視察に旅立つとになり河相外事、御影池學務、星子衞生三課長、室田秘書官その他を帶同して午前七時四十分自動車にて旅順出發、同九時大連發の急行にて鞍山へ向つたが驛頭には太平滿鐵副總裁を初め滿鐵各理事、本廳局課長、辛島大連民政署長、田中市長、石井大連警察署長その他多勢の見送りがあつたが出發に際し長官は語る

滿洲も非常にいゝ氣候になつた沿線視察は據れての希望であつたが今度漸く素志を果すことゝなる譯だ、出來る限り詳細に各方面を視察し行政上の參考に資したいと思つてゐる

電氣協會定時總會

社團法人滿洲電氣協會では來月二日滿鐵社員俱樂部において第三回定時總會を開催するが當日は午後二時より評議員會があり第三回定時總會提案事項を議案として協議し同三時より定時總會に移り同四時半より旅順工科大學教授佐藤芳夫氏の「汽力及水力發電所容量の經濟的平衡に就て」と題して講演會を催される、なほ同日午後七時よりヤマトホテルにおいて出席者會員の懇親會を催される筈であるが定時總會の議案左の如し

一、昭和五年度會務報告

二、同會計決算の件

三、昭和六年度收支豫算の件

四、會長副會長その他の理事及監事の改選の件

五、評議員承認の件

滿鐵監事會

【東京特電廿八日發】滿鐵監事會は六月二日正午麻布狸穴の社宅において開會馬越、大槻、原、湯川の四監事並に仙石總裁、神鞭、十河兩理事、大淵支社長、橋本經理課長等出席の上昭和五年度の決算に關する件その他を協議する筈であるが大體今期配當八分見當ゆ動かざるものゝ如く一方政府においても右決算に關して審議中であり來月十日頃査定を終らう

人事

▲土肥顯氏(滿鐵總務部庶務課長)廿八日午前赴旅卽日歸任
▲大谷龜藏氏(步兵大佐) 廿八日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲本鄕義夫氏(陸軍省整備局員)同上
▲京都一高女生一行廿七名 同上

茶

◇…仙石總裁は、なかく讀書家で、非常な讀書家である。時々、日本橋の丸善に出かけて行つては、洋書を二三十册買つて歸る。七十五の今日と雖も、暇さへあれば熱心に、海外の新刊物に目を通してゐる。

◇…これは同じ丸善のお華客である鴨託菱田政治氏の話だが、仙石總裁は、非常なモルトケ贔屓で、よくこの將軍の事を話すさうだ。それは「モルトケ將軍の意思の強い事と、普佛戰爭に際して、運輸――特に鐵道の事を充分研究して戰爭に當つたので、それで大成功をした」點で、モルトケ將軍の鐵道研究をやつたところが仙石さんの、ひどく共鳴するに至つた所以であらうと。

◇…仙石總裁の主治醫大谷繁士は「讀書家のやうな人」…

赤げつと

支那あちこち(十一)

國枝史郎

大連て(一)

友よ、大連は殆ど日本の內地と異はりが無い程內地化されてゐると思つてくれたまへ。

だから此處で異國情調を味はうと心掛けたら稍失望しなければなるまい。

その代り此處は上海などと異つて生命、財產等に對する危惧不安は絕對にない。

さうして此處では日本人といふものが如何にも威張れる！歐米人に對しても中華民國人に對しても、で、逆も愉快だ。

人間の顏、起居動作、物云ひ、それらのものが何んとおほまかでおほらかで、悠々としてゐること

青幇とブルジヨア革命(下)

たちばなし

六

青幇は前時代の遺物――所謂前時代とはブルジヨアが支那の支配階級たる地位を獲得する以前の時代、卽ち封建主義、非合法主義、家族主義の社會を意味する。青幇は斯かる如き社會に於て貧農、勞働者、遊民等の廣大なる被壓迫民衆が其生活の安定を維持するために自然に發生したところの組織である。故に彼等の敵は官僚…

七

…閥、土豪、劣紳であり、彼等の結社紐帶は家族主義(例へば親子又は兄弟を擬制する如き)であり、而して彼等の存在自體が非合法的であり、就中結社組織の上層を構成するところのルンペン・プロレタリアの生活形態(例へば盜匪、職業、阿片密賣者、賭博請負者、博徒等の如き)でさへもある。

八

かくの如き青幇が、ブルジヨア革命の新社會に對して何時迄長く、何を變ひて居るかを推測することは必ずしも難事でない。先づ彼等は合法主義の壓迫を蒙らする。就中上海租界に支那法權の入込む時代が到來すれば、莫大なる非合法的財源の杜絕から現在青幇の持つ華麗なる一部構造は、忽ち崩壞する外ないであらう。但しその場合にも、彼等の非合法的乃至反社會的機能が急速に絕滅するといふのでは勿論ない。

第二には彼等の結社紐帶たる家族主義の效用が漸次に衰へて個人主義的又は社會主義的な新らしい紐帶がこれに代りつゝあるる。具體的にいへば前時代に青幇に倚り縋ることによつて其生活を擁護し得た勞働者達も、工場制度の出現した今日では、最早青幇組織を賴みとして資本家の壓迫と搾取とに對抗することは出來ない。單にそれのみならず、青幇の大小の首領達は多くの場合に於て、彼等の乾分乃至弟分たる勞働者の味方であるよりも寧ろ其正反對に、工場主利益のために勞働者に對して

九

現に上海の租界當局は青幇の首領達に對して、司法及び保安警察に於ける警職務以外、共產黨及國民黨系勢力の侵入に對して偵察及防衞の新任務を受けて居ると同時に、外人殊に英人の經營する大企業では、青幇の首領を選んで忠實なる首領を選んで職を與へ、これに「工場監督」の重職を與へ而ち青幇の保守性を利用することによつて巧に勞働者を統御し、有效に組合運動に對抗して來た。但し上海の程度に赤黃勞働運動の普遍化した地方では、青幇のプロレタリアに對する統制力は既に歷史的事實となりつゝある。終りに臨んで私は退運を自覺した上海青幇の首領達が其血路を打開するために滿洲方面に注目し始めたことを注意しておきたい。

蛇角

滿洲日報 (金曜日) 第九千八號 (第三種郵便物認可)

果然全滿の人氣を集めて各地盛況

けふ華々しくスタートした全滿サービス賣出

全滿サービス賣出し第一日たる廿八日は初夏の好晴に惠まれて華々しくスタートを切つた、午前九時から大連市中の參加店約一千軒には一店毎に「全滿サービス賣出し加盟店」と白地の布に鮮かな眞紅で書かれた宣傳ポスターが掲げられ、市中の目拔場所五十ケ所に建てられた壯麗な廣告塔が往來する人の眼を奪ふ、沿線十五ケ所の盛況ぶりも刻々本社へ電達せられて素晴らしい景氣だ、行き届いたサービス振りと、素敵に豐富な景品と兩々相俟つて、サービス賣出し初日の景氣は目まぐるしい程の大盛況ぶりだ

開場早々から廣告展賑ふ

けふは「わかもと」デー 坊ちやん孃ちやんに紙風船

廿八日から蓋を開けた本社樓上の實物廣告展は出品商店と係員、不休の努力で豐饒な出品物が人氣を呼び、からりと爽かな初夏の薫風が縱覽客を誘つて、午前九時開場と同時に人脚が出初め、東側入口から廻廊を登る跫音が騒がしい程の景氣の良さだ、ルーフに翻へり靡く萬國旗の華やかさ、ポールに掲げられた國旗の雄壯さが、實物廣告展の人脚を一入に誘ふ、第一日は滋養強壯劑「わかもと」の宣傳デーとあつて、會場入口には孃ちやん坊ちやんのお土産に差上げる紙風船や色刷りポスターが飛ぶやうに出る、七十の小間に區切られた實物廣告展會場からは、軽やかなメロデーに伴れて蓄音器が甘美な樂曲を奏出して、色彩鮮麗な店々のデザインを一層華やかに粉飾する「即賣致します」と貼札された化粧品店の前に佇むモードなお孃さん、新型の家具に見入る若いカップル達、さては美しく並べられた洋菓子の山に見惚れる子供連れ、嬉しさにハチ切れさうだ、兩側ルーフには即賣店の人氣が湧いて、廣告展に見疲れた人々が、カルピスにアイスクリームに喉をしめせてゐる

餘興場では廣告劇

「大連新風景」

實物廣告展の餘興として正午から本社餘興場で催された大連カフエー女性群の廣告レヴユーは晝食時間を利用するサラリーマンの人氣を獨占して、開幕前から既に百パーセントの大入り、補助椅子も出切つて餘興係を面喰はせた、ミドリカフエー選り拔きの麗人と喫茶座同人とが出演する廣告レヴユー「大連十景」が呼び物だ「黑石礁」をトップ・シーンとしてシックなモボとモガのナンセンスな戀愛技巧が器用なゼスチユアと、ダンディな會話で三分間のデビユを終るや然爆發する愉快な哄笑と割るやうな拍手、續いて第二景「常盤橋」から第九景「浪速町」迄、大連市中の目拔な場所をバックに無邪氣でシックで、明朗な寸劇の連續だ、そして廣告展オンパレードで出場者總動員、華やかなデビユーが打ち止めで、滿場の喝采を浴びた

實物廣告展と景品

寫眞(上圖)本社樓上の廣告展會場(左圖)全滿サービス賣出の景品、(右圖)餘興場の廣告レヴユウ

ベンゾリン事件の公訴權は放棄せぬ

―廳令は制定主旨から有効 搖ぎ出した樂觀説

關東廳令變造事件に對する大連地方法院檢察局の措置は白川氏一味のベンゾリン密輸事件に重大な關連あるものとして法曹界の注目を惹いてゐるが、其後檢察局では近森、川合兩氏の取調べも一段落となり、內地の囑託訊問も全部出揃ひ、該廳令制定當時の事情も鮮明したに拘らず、今日なほ近森、川合兩氏の起訴、不起訴の處分を見合せてゐるので、事件の推移は全く五里霧中の態である、しかし仄聞するところによれば檢察局の態度はベンゾリン事件の公訴權放棄といふが如き措置は絶對に執らざるものゝ如く、最初の解釋通り該廳令は正誤に於て手續上の缺陷あるも制定主旨に則り法律上有効なりとの見解の下に來る公判に臨むことゝなつた模様である、從つて近森、川合兩氏の處分問題は全然ベンゾリン事件とは切り離し

公判後に於て決定する

ものと見られてゐる、よつて來る公判廷では

一、果して廳令九十四號は變造なるや否や

二、變造なりとせば該廳令に正誤挿入せる「誘導體の鹽類」なる條文は法律上有効か無効か

この二點を中心として大論争が豫想されてゐるが、最後の決定權は裁判所にあり、裁判長の意見の歸趨如何に百パーセントの興味が繋がれてゐる譯であるが、萬一裁判長が「法律の內容を檢討する審査權なし」といふ形式論によつて廳令變造問題を一蹴するが如きことある場合は有利に開展しつゝある

ベンゾリン事件に不利を招く結果となる

ので辯護士側ではこれに對する作戰を練つてゐる、これら事情が輻輳しその大渦を卷いてゐるベンゾリン事件の興味は來る六月廿四日の公判廷に投げかけられてゐる

高松宮兩殿下はあす桑港御出帆

今夜御謝辭を御放送

【サンフランシスコ二十八日發】高松宮同妃兩殿下には二十七日朝日本語學校金門學校其の他若き在米邦人學校を御視察後午前十一時サンフランシスコ市役所を御訪問あらせられた今夕は七時より日米協會の晩餐會に台臨午後六時よりエヌ・ビー・シー放送局を通し全米國民に御滯米中の歡迎に對する御謝辭を放送あらせられた兩殿下は愈々廿八日正午秩父丸で御出帆晴れの御歸朝の首途につかせらるゝ筈

カルモチン自殺

二十七日午後十一時三十分市內久方町五番地金丸某方二階で同宿人谷口光正(二二)がカルモチンを多量嚥下、自殺を企て苦悶してゐるを發見直に志摩醫師を迎へ手當の結果生命を取止めた、大連署から中島係官檢證したが、遺書もなく原因は神經衰弱らしい

日本創作畫展覽會

一期日 五月二十九日(招待日) 五月三十日より四日間(午前九時より午後五時まで)

一會場 於商工會議所

一入場料 場內整理のため金二十錢

主催 日本創作畫展覽會

後援 中日文化協會 大連新聞社 デイリーニユース 滿洲日報社

慈惠病院行啓

【東京廿八日發】皇后陛下には廿八日午後一時半宮城出門芝區東京慈惠會醫院に初めて行啓あらせられ總會に臨ませられ二時十五分より入院患者百五十名を親しく病床に御見舞あらせられ三時十五分還啓遊ばさる

電車バス早廻競走

當日出發は文字入り煙火で合圖 豫想投票も續々集る

本社主催の大連市內電車並に乘合自動車の早廻り競走はいよいよ來る三十一日擧行されるが、滿電側及び本社係參集して打合せの結果當日觀走班として參加する

各選手

は午前十時半までに發着地點の常盤橋電車待合所に集合の上係員の指圖を受けらるべく、かくて午前十一時三分前に「電車、バス早廻り競走」正十一時に「只今出發」と何れも文字入り煙火を各一回打ち揚げてこれを合圖に一齊にスタートを切ることになつたが、更に歸着の際も早廻り一着、二着、三着と出發と同じく煙火三回打ち揚げて一般に知らせると同時に、直に其の所要時間を

發着點

に掲示することになつてゐる、因に觀走に參加する選手は抽籤の結果

甲班(愛讀者)塙善勝、末包武尚

乙班(愛讀者)岡田辰次郎、山田龜太郎

丙班(愛讀者)荒木清治、白方慶五郎

丁班(近江洋行)河合義太郎、大橋正夫

戊班(宅の店)島本一男、中村阪

に決定し、右各班に對し監視委員として電鐵及び本社より各一名宛附添ふほか、更に滿電より主要箇所に監視員を置いて途中公正なる觀技が出來るように準備が出來てゐる外、審判委員として左の諸氏を委囑して萬全を期することにした

審判長太原本社支配人、審判委員高橋電鐵課長、永井運轉係長、溪自動車係長、賀來計畫係長、中村本社外交部長、山下本社販賣部長、本村本社庶務部長

六時間

尚これに伴ふ懸賞所要時間豫想投票も發表以來續々と到着しつゝあるが、大體滿電側の豫想としては內外の見當であらうと豫想してゐるが懸賞募集締切は三十日中であるから振つて投票されたい

ワキガ・口臭に惱む方へ！

岡島博士、宮原學士發表の大効ある新手當法が「婦人倶樂部」六月號に發表され大評判です。

風の吹く儘に氣球は漂流

成層圏研究の爲にあがつた獨逸氣象學者ピ教授

【ミユンヘン二十七日發】成層圏研究の爲め七哩の高空目差して飛び上つたドイツ氣象學者ピッカルド教授搭乘の輕氣球は其の時々の風次第に漂流を續けてゐるが氣象研究者は氣球は一萬二千米に達したと云ひ又成層圏に達したと云はれてゐる、氣球は二十七日午前はドイツ上空にあつたが、午後にはオーストリアに入り午後一時半にはイタリーボルツアの上空に現はれたが更に南風に遭ひオーストリアアルプス連峰地方を漂流してる

二百十時間既に經過

生死危ぶまる

【ミユンヘン二十七日發】ピッカルト教授は出發に際し五乃至七時間の豫定で着陸すると云ひ吸入用酸素も十時間分を携帶したのみである、二百十時間以上を經てまだ降りる形勢なく地上では大いに心配し當地飛行家テチユナー氏は飛行機で氣球に近附きいろいろ信號したが、何等應答なく且氣球下降の際瓦斯を拔くためのバルブ綱も引かれた形跡なく怪しみながら歸つて來た

明大復歸の願書提出

淺沼氏の辭任

【東京特電廿八日發】淺沼氏を除き七審判の辭表提出となり紛糾の續出を見た六大學リーグ審判部は廿七日夜に至り只一人殘つた淺沼氏も「私の態度と感想」と題する聲明書を出し慶明戰のボーク問題暴行問題明大の出場還應等の責任は自分一人の無能に起因すると述べ明大野球部を速かに復歸せしむる様との願書をリーグに提出して此處に六大學リーグの審判八名悉く辭表を提出して審判部は全く解消するに至つた

尚新田氏も二十八日夜三宅氏の聲明書に對して同氏の虚言を述べ全く反對な事實を發表してゐると述べ自己の立場を明らかにする聲明書を發表した斯くて審判解消後理事會が如何なる處置を執るかゞ殘された大問題として注目されてゐる

米國獨立祭に若槻首相放送

【東京二十八日發】東京中央放送局では來る七月四日の米國獨立祭に米國に呼び掛ける事となり晴の放送者として若槻首相がマイクロホンの前に立つ事となつた、尚放送プログラムの細目に就ては米國のエヌ、ビー、シーと目下打合せ中であるが右に就き矢部放送部長は語る

國際放送は日米親善の爲めにも非常に結構な事なので目下準備を進めてゐるます獨立祭には若槻首相を煩はす事になる筈です

鵬程一萬四千キロの學生訪歐大飛行

愈よ明朝壯途に上る

【東京特電二十八日發】日本學生航空聯盟主催の學生訪歐飛行は準備全く成り愈々晴の壯途を明日に控へ二十八日午前十時正操縱士栗村盛孝氏と副操縱の熊川良太郎飛行士は愛機青年日本號を操縱して立川飛行場から羽根田飛行場に愛機の空中輸送を行ひ空輸會社の格納庫に入れ二十九日午前九時から同機を前にして盛大な式が行はれ同十時半勇ましく歐洲への第一行程として先づ大阪に飛ぶこととなつた第一日は大阪に一泊、第二日京城、第三日ハルビンに飛んで順次滿洲里、チタ、ウイフネジンスク、イルクーツク、クラスノヤルスク、ノボシビルスク、オムスク、クルガン、カザンを經て十二日間でモスクワに到着し更らに獨、白、英、佛の各國を訪問するが、全航程一萬三千九百四十キロ、約一ケ月の豫定で輕飛行機による世界屈指の大飛行である

北岡子の住民騒ぐ

立退を誤解

滿鐵では先年來北岡子方面の土地整理工事をなしつゝあつたが今年もいよいよ結氷期も終へたので近く奉天の井上組の請負によつて約四萬圓を投じ同地十二、十五番地の一部を整理に着手することゝなつたので廿七日係員出張同地の居住者に立退き家屋についての評價調査を行つたところ無智な居住民は何れも大恐慌を來し、大擧して北岡子派出所に押かけ「自分達には交換土地を貸與して呉れるか」とか中には「自分等家族は行き先がない」と叫びながら數百名の苦力共がデモを行つて派出所を手古摺らしたが、結局派出所員が「滿鐵では皆を困らすやうなことはしないだらうから」と諭して歸宅せしめたが一時はなかなかの騒ぎであつた

實業滿倶兩軍

奉天と撫順へ

本社主催の大連實業團對大連滿洲倶樂部定期戰にそなへるため大連實業團は來る三十日二十一時三十分發列車で赴奉三十一日午後奉天滿倶と國際運動場野球場に於て對戰することゝなり又大連滿洲倶樂部も同列車にて赴撫三十一日午後撫順滿倶と永安臺野球場で對戰することゝなつた

氷値下げ

大連市中一手に氷を供給する大連製氷會社ではさきに水產組合へ賣渡す冷し氷を約二割の値下げを行つた結果一般氷卸賣値段も引下げ協議中のところ、今度愈々五厘値下を斷行することに決定來る六月一日より一貫目六錢にて販賣店へ賣渡す旨二十八日發表した、この結果特約販賣店から一般氷店へ賣出される値段も一割內外引下げられる模様である

共產事件公判不公開で開廷

【東京廿八日發】福本和夫、佐野學以下日本共產黨幹部四十三名に係る治安維持法違反事件公判準備手續は二十八日東京地方裁判所に不公開で開廷された本公判は七月七日開廷の筈

米領事館休館

アメリカ領事館では例年の如く三十日はアメリカ招魂祭に當るので休館する由

日滿通信祝宴

日滿通信社の創刊滿十周年記念祝宴は二十七日午後六時から浪速町遼東ホテル太白樓において開催、辛島大連民政署長、田中市長、森本法院長、山西滿鐵總務部次長その他二百餘名の來會者あり、席上津上同社長の挨拶、辛島民政署長の祝辭あり松山本社々長の發聲にて日滿通信萬歳を三唱し盛宴裡に散會した

佐賀縣人會

佐賀中等教育會の滿鮮視察團一行三十一名は京城及び平壤視察後滿洲に入り安東、奉天、撫順等を順次視察し二十九日午前九時十分旅順着、同六時二十五分旅順發、同七時四十五分大連着、三十日滯在同夜縣人會主催の歡迎會に臨み三十一日出港のハルビン丸にて歸國すること

困つた人妻

市內沙河口仲町九一橋本某方中島與三郎內縁の妻宮崎イヨノ(三二)は廿七日金州某飲食店にて無錢飲食をなしたため同地より沙河口署水源地派出所を通じて夫中島に連れもどすべく通知があつたので中島は同日金州に赴き懇々と説諭の上同伴歸連の途中イヨノは夫の睡眠中を奇貨として沙河口驛より下車姿を晦ましたので夫は沙河口署へ搜査方を願出でた

天氣豫報

二十九日

西の風晴 一時曇

滿潮(午前八時二十分 午後八時三十分)

干潮(午前一時三十五分 午後二時二十五分)

預金部の融通總額 四億百三十萬圓と決定
きのふ運用委員會において

【東京特電廿八日發】預金部運用委員會は廿七日總額四億百三十萬圓の融通を決定した、そのうちには借替三千八百萬圓及び政府の公債引受一億三千十萬圓を含むといはれ委員會始まつて以來の巨額である、内容を見るに養蠶資金を始め農村關係が一億四百萬圓に達し社會事業資金の一部鮮米增殖資金等を加へれば大部分を占めてゐる

支那の春蠶は數十年來の凶作
わが國の絹糸價漸次上向きを豫想さる

【東京特電廿八日發】廿七日蠶糸中央會への入電によれば支那の春蠶は數十年にない凶作でその生產高は昨年の約半額見當と豫想されこの結果は日本の絹糸價も漸次上向くものとみられ、繭も二十五六掛三圓位まで行く模樣である、その原因は氣候寒冷雨多かりしためで江蘇、浙江兩省の春繭は稀有の凶作、江蘇省在來種は殆ど全滅にて平均二分五厘作、出廻り乾繭七萬擔見當、浙江省三分作乾繭出廻り八萬擔計十五萬擔、昨年の半數以下なり、紹興地方買馴れ五十元、杭州　稽地方四十七元、嘉興地方品薄にて六十元、尙乾繭百斤につき買入諸掛二十元、繭もと七百テール見當、邦貨にて約二十六掛であると

連鎖商店街を更に歡樂境化す
窮狀打開の新戰術
どうやらお臺所少しは樂に

合資會社連鎖商店が大連商店界のダークホースとして生れ出てゝから既に一年有半、併し折柄益々深刻化した不況に對して、また大連市には尨大過ぎる二百萬圓といふ大資本を投じた連鎖商店を經營する困難は大きく創立當初の豫期と違つてその間の成績は甚だ面白くなかつたのである、償還に對する賦金は元より、滿電に對する毎月の電燈料三千五百圓さへ

支拂ふ　ことが出來ず、つひに昨年末經營當事者の美川支配人は窮狀打開のため東拓に十六萬圓借款の交渉に上京したが、東が該借款に對して返濟優先權を認めるといふ滿鐵よりの一書を附すべきことを要求した爲めつひに借款契約は纏まらなかつた、その結果その窮狀愈々極まるとみえたが最近美川支配人は各關係者と協議のうへ連鎖商店の經營方針を變更し同地帶を大連市の歡樂境と化し人の足をひく術に方向轉換した結果、飲食店は

激增し　て現在二十六軒に達し、そのうちカフエーが九軒しかも設備、サービスの點に於て俄然大連の人氣を奪つてこの方面では最近著るしく發展を示してゐるが、なほダンスホールが許可されることゝなれば連鎖街に三ケ所位設け歡樂境として市中の人氣を此處に集める方針である、右について美川支配人は語る

連鎖街の經營で一番困つたのは昨年末でした、東拓の借款は色々の事情で旨くいきませんでしたが今他に話が進捗してゐますから

東拓の　方は斷ります、今春頃から漸く樂になりました

し電燈料も今一萬六千圓溜つてゐますがこれも今後順調に拂つていけます、事務所で各店から集金して電燈會社へ拂ふのですから二ケ月遲れるのは當然で、又最初遞信局が料金の許可なくて來るのが大分遲かつた爲めそれまでは徴收の法もなかつた次第です、連鎖街も今九軒の空家があるだけです、こゝを歡樂境としてやつてゆくといふことは最初の

過渡期　として私はやむを得ないことゝ思ひます、カフエーも警察で許してくれるならなほ十軒ばかり殖やしたい考へですが、ダンスホールも許可されるやうになつたら中年以上の者が行くところと青年の出入するところと、も一つ變つた三種類位設けて大いに賑かにしたいと思ひます、その上連鎖街の發展が固定して來れば又商店外としてどんなにでも進んで行く途がありませう

鮮銀を相手取り拂戻しの訴訟か
浦鹽支店引揚げで露銀行に預金が沒收される白系露人

【ハルビン廿七日發】廿七日浦鹽鮮銀支店は愈々清算事務を終り引揚げに取かゝつた、預金未拂額は數十萬圓に達するらしいがこれは露領を去つた白系露人のものとしてロシヤ銀行の收得金となる模樣で、白系露人預金者は鮮銀を相手取り拂戻しの請求訴訟を起すといきまいて居る

露國商船隊大連進出
けふ傭船の諸威船來航

ソウエートロシヤ商船隊は極東進出を企て浦鹽を根據地にして活躍を續けてゐるが、我が國海運界にてもその行動注目中のところ廿七日午後ノールウエー汽船バステツク號（船長ルグセン氏千八百四十九噸）が入港三十五番バースに橫付けられた、同船は商船隊のチヤーターせるもので石油二千罐、煙草三五八罐、木材七十五噸を積んで來たもので大連には石油二千罐、木材七十五噸を揚陸するが一說によると石油、煙草類のダンピングに來港したものだといはれる、しかして商船隊では同型汽船を數隻傭船してゐる事とて漸次大連進出が企てられるだらうと云はれてゐるがバステツク號はそのトツプを切つたものと見られる

烏鐵の眞劍な努力で荷役悲觀を要せぬ
浦鹽の實情視察から歸った津久井三井大連支店長の談

浦鹽に於ける荷役作業の恢復が遲々として進まざる旨傳へられて久しくこれが眞相如何は各方面の注視の的となつてゐたが、三井物產大連支店長津久井誠一郎氏は輸出商としての立場より眞相究明の必要に迫られ去る十三日發列車で北行、ハルビンを經由し最近の浦鹽の實情を調査中のところ二十八日朝着列車で歸連、左の視察談を齎した

浦鹽に　於ける現在の荷役作業狀態は非常によいと言へる即ち荷物は從前に比してグツト減少して居るし、船も二隻乃至三隻位に過ぎない、しかも九臺のエレベーターを使用してゐるから一隻の船舶に二臺乃至三臺のエレベーターを以て直接倉庫から船の中へ積めるわけである、從つて目下の輸出狀態からいへば荷役に停滯を生ずることはなく順調にいつてゐるが、輸出最盛期に這入つてどうなるかゞ問題だ、然しながら烏鐵當局は極めて熱心に眞劍になつて荷役作業の

改善に　努力して居るから相當の效果は擧げ得ると思ふ、殊に昨年末以來、苦力の怠業によつて非常な苦痛を嘗てゐるから今度の冬にはエレベーターも增加することゝなり作業は著るしく改善されるものと思はれる、僕の滯留中にもスモクワから五百名の人夫を送つたとの情報が到着してゐた

順調に　行けば倉庫は優に四十萬噸の收容力があるのだから東支、烏鐵の運賃安と相俟つて相當の輸出をみるべきは明かである、前にも述べたように烏鐵の代表や商業部長代理等は非常な眞劍さを以て荷役作業の改善に努力して居る、前商業部長の如きは荷役の能率擧がらず國家に損害を與へたといふ廉でゲ・ペ・ウに捕へられ現に投獄されてゐるといつた有樣である、エレベーターも今度の冬迄には二十臺に增加する意嚮らしく、そうなれば烏鐵關係者の努力と相俟つて改善の實が擧がるのは確だと思ふ、從來二十萬噸乃至二十五萬噸の收容をなしてゐたものもエレベーターの

使用に　よつて三十五萬噸乃至四十萬噸位は樂に出來るものと思はれる、但しこゝに注意を要するのは苦力がよく怠業をやることである、卽ち苦力の賃銀はルーブルで仕拂はれるがそれも不拂ひ勝ちであり、日貫つても送金が嚴禁されてゐるので働いても仕方がないといつた工合で種々の口實を設けて盛んに怠業をやる、食物にしても普通黑パン四斤にスープを買つて喰ふといつた有樣だから空腹で荷役も思ふやうに出來ぬこともあるらしい、そこで新に勞働者を雇入れるがそれでは能率が擧がらぬことになる、是等の點を考慮に入れると差したる

期待は　持たれぬことになるが、この樂悲兩樣の觀測を比較すると樂觀的材料が多いのである、只今秋迄に果して豫期の成績を擧げ得るかどうかは疑問だし、多くを期待するわけには行かぬが烏鐵當局の眞劍な努力をみて、吾々輸出商の立場に鑑み今後の輸出を圖る上に於て非常に安心したわけである

強き弱き
米國安は響かない
德泰公司專務　濱野榮一氏談

スチール株は九十二弗臺といふ新安値を報ずる位でアメリカの景氣はまたく惡いがこれは昨年來インフレーション狀態で財界の惡化が糊塗されてゐた結果で今その咎が現れつゝあるものと思はれる、そこへ行くと日本は昨年既に實勢惡化と極度の恐怖心から株式の底入れをとなり、事業界の整理其他淨化作用が行はれてゐるから米國の不況が痛烈に影響を與へるとは思はれない、只未だ財界整理の效果が如實に現はれる程度に至らないから米國の不景氣も或程度の壓迫を蒙ることは免れまいが株式の根底を覆へすやうな影響はあるまい、寧ろ米國株式の落きを俟つて金融相場が展開されるのではないかと思はれる

ようだ、兎に角一言にしていへば浦鹽は吾々が思つてゐたよりは非常によかつたとの感を深くしたのである、港の設備はよし荷役さへ

東亞土木專務に金丸氏選任
けふ定時總會で

[illegible]

東亞土木企業株式會社派遣社員非役規程第一條第二項により非役を命ず（總務部勤務）
考査課勤務を命ず　總務部考査課參事　林田精一
總務部考査課參事　金丸　[illegible]

上海爲替情報

【上海二十八日發】銀塊ストラ買付き寄り、大連筋成豐永標金買に伸びたと値恒興、吳培初ほか買方大康永、泰康潤など中央文とおもはれる賣ものに急落した、今週在銀二百七千兩、五十五萬弗增加、爲替標金ともよく賣るの本店が破產狀態に至つたはる

上海標金

寄値	八〇
高値	八一
安値	七九
止値	七九

黄塵

◇…本年[illegible]大豆[illegible]出廻り[illegible]出振け[illegible]百二十[illegible]上ろ[illegible]が特產商や糧棧の手にゐる。

◇…いづれは南か北かにればならないが最近運役問題が益々紛糾してゐるから特產商は南行にるものが續出しつゝある

◇…ところが從來大連[illegible]續けてゐた官商[illegible]ンから松花江を[illegible]で船で輸送し更に支那[illegible]り營口に向ふ計畫を[illegible]そうだ。

◇…これが成功すれば[illegible]ても大連は待ち呆け[illegible]ある、滿鐵なども[illegible]策によらず今の内に[illegible]策を確立せねば後悔のことにならう。

アメリカの對支經濟政策（2）
田中九一

米國の支那に對する野心

御承知の如く、アメリカの門戶開放主義確立は、一八九九年（明治三十二年）國務卿ジヨン、ヘイの宣言を各國が承認（米國のみは不完全承認）した事に始まるが、この宣言は次の內容をもつものであつた。

一、各國の支那における勢力範圍の存在を認める。

二、この勢力範圍內に於て次のことをすべての國民に平等とする（イ）關稅率（ロ）船舶に對する港灣稅（ハ）鐵道運賃

かように、最初の形に於ける門戶開放主義は、勢力範圍を明かに承認しよ、遠慮深い要求であつたが、その後「門戶開放」の看板だけは一貫しながら、その內容は著るしく變つて來た、此變化がどうして起つたか、今後どう變化するであらうか、これが本篇の主題である、その前にわれ〳〵は、ジヨン・ヘイのつゝましやかな宣言はどうして提起せられたかを知られぱならぬ。

アメリカはヨーロツパ諸國に比すれば資本主義的後進國であつた英、佛などの先進資本主義國が印度や印度支那を占領し、支那に手をのばしてゐる間にも、アメリカは比較的廣い自國內で、東より西及び南に發展して居れば、初期資本主義發達の地盤としては十分であつた、從つてアメリカは支那との通商開始はイギリスについで比較的早かつたが（一八四四年）然し支那に確乎たる地盤を築くだけの力は、十九世紀末までは持たなかつた。

十九世紀の最後の十ケ年に、アメリカは海の外へ出て積極的に西へ發展し始めた。一八九三年にはハワイ王國に革命を起さして大陸に之を併合した。一八七八——一九〇〇年の約二十年間には、南洋サモア王國領の一小島ツラチ島を海軍根據地として獲得するために英、獨兩國と激しく爭つて、遂に之を領有した、一八九八年にはスペインを壓迫してフイリツピンを買收した。

このフイリツピン領有について、いいいいいいいいい一八九九年に米亞協會書記長はいつた「假にわが國が支那に對して關心を持たないとしたならフイリツピン領有は無意義であ……」と」（ニアリング著角田譯「弗外交」）

かくして、漸く目的地支那に積極的に活躍せんとした、當時の支那はどうであつたか？雲南はフランスの勢力範圍となつてゐた。揚子江沿岸といふ豐饒、廣大なる地域ではイギリスが勢力範圍を主張してゐた、山東省はドイツの支配下にあつた、滿洲一帶にはロシアが頑張つてゐた、そこでアメリカが支那に發展するためには、之等の諸國なみに勢力範圍を設定するか、又は之等の國の勢力範圍の效力を薄弱ならしめるか、どちらかの途を取るより外はなかつた、第一の方法には強大なる力を要する、イタリーが三門灣の租借を要求して支那にはねつけられて引下つたり、日本が遼東半島を得て、三國の干涉に會つて失敗した例もあつて、支那及び列國の反對を押へつけるだけの力を自信しなければ出來ない方法である。そこでアメリカは第一の方法をすてた、第二の方法も英、獨、佛、露の勢力範圍そのものを否認する程の力を持たぬ、アメリカとしては、ごく穩やかな要求に止めて自國の貿易の便を圖るの外なかつたのである。（つゞく）

市場電報

銀塊及爲替

[illegible]	三片八分三
[illegible]	三片十六分五
[illegible]	三六仙三分一
[illegible]	留比大分十一
[illegible]	三弗八分五
[illegible]	二四弗八分三
[illegible]	四八弗廿四仙
[illegible]	二弗八分七

棉花

[illegible]	八仙六五
[illegible]	八仙七九
[illegible]	八仙九三
[illegible]	九仙三三
[illegible]	九仙六八
棉	三五留比
	二七〇留比

大阪期米（オムラ　二三留比）

	前場寄	前場引
當限	一九三〇	一九〇〇
中限	一九二〇	一九二七
先限	一九五〇	一九二〇

東京期米

	前場寄	前場引
當限	一八六五	一八五九
中限	—	—
先限	一八六六	一八六五

神戶期米

	前場寄	前場引
當限	一八五九	一八五七
中限	一八四〇	一八四〇
先限	一八四三	一八四一

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	六四四〇	六四四〇
大新	五四一〇	五四一〇
鐘紡	一七六三〇	一七六三〇
鐘新	七〇九〇	—
日糖	—	七〇三〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一三六九〇	一三六五〇
東新	一一八〇〇	一一八〇〇
五品（當）	—	—
五品（中）	—	—
五品（先）	—	一三一〇
豆新（當）	—	—
豆新（中）	—	—
豆新（先）	—	一三一〇
（短期）東新	—	—

	東株	大新	東新	滿鐵新
寄値	一九二〇	三四四〇	一八〇〇	—
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪棉花

	寄付	大引
六月	三三五〇	三三五〇
七月	三三四〇	三三六〇
八月	三三四〇	三三二〇
九月	三三八〇	三三九〇
十月	三三〇〇	三三三〇
十一月	三三四〇	三三四〇
十二月	—	—

横濱生糸

	前一節	前二節
當限	六八〇	六八〇
先限	六九五	六九五

	前一節	前二節
五月	五四〇	五四〇
六月	五六〇	五六〇
七月	五八〇	五八〇
八月	五八〇	五八〇
九月	五八〇	五八〇
十月	五九一〇	五九一〇

印度麻袋

鑛筋直積	三留比三分一
青筋直積	二八留比四分一
爲替相場	一毛留比四分一

市況（廿八日）

特產

大豆續騰
官商賣らず

[illegible]は大豆は實物薄と銀安を辿り豆粕又靜り商豆油は依然人氣引立ち高粱は買氣失せて軟

◇定期前場（銀建）（單位厘）

[illegible]

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇	四四二九
遠期	不申			

出來高　期近五百四十三萬圓

豆　官商筋の態度は寔に慇懃出沒、再びハタと買止めたようだ▲一方には銀安材料があり、この所大豆は優勢の一途を辿つて居る▲さりとて輸商としては拱手傍觀するわけには行かぬとみえ弗々ながら商賣はせざるを得ないといつた姿であり▲津久井三井支店長の浦鹽視察談によると荷役改善は眞剣に行はれ埠頭設備の良好と相俟つ

株式

內地株堅調
當市保合

北濱定期の寄は大株二十錢安大新四十錢高鐘紡二圓三十錢高鐘新八十錢高と強調なり東京短期の東新も二十錢高に寄りアト歩みは靡りを入れたが當市は氣配變らず五品は十錢安新豆も一、二十錢安の弱保合現物の東新は六十錢高に寄りアト二十錢安に引けた

十一時	四〇〇	二七五
十二時	二三〇	—

出來高（銀對金）四十五萬九千圓（錢對洋）三萬圓

[illegible]

商品

麻袋變らず
綿糸も保合

金額　六、五九五圓

●麻袋　產地情報は鑛青筋共に四分の一高と靡りを入れ銀塊八分の一安と地場鈔票弱保合と材料不ぞろへで今一歩添はず保合閑散裡に散會した

●綿糸　米棉現物變らず先限三五ポイント安印棉二三十錢高銀塊八分の一安と軟材を入れたるも大阪三品は當限五十錢安中限一圓二三十錢安なるも先限は三五十錢高と區々に寄り引け跡當限四十錢高中限三四十錢高先限一二十錢安と引け當市は氣乘薄くマバラの小手合せがあつたに過ぎなかつた

手形交換高（廿八日）

金	八六九枚	三〇〇、七六九圓
銀	三六〇枚	九、二六七、二二四圓

爲替相場

正金（銀勘定）

日本向參着賣（銀百圓）	四二圓五〇
同　十五日買（同）	四三圓五〇
上海向參着買（銀百圓）	七二兩五〇

正金（金勘定）

倫敦向電信賣（一片）	二志〇片八分三
信用付三月買（同）	二志〇片十六分十一
米國向電信賣（百圓）	四九弗八分三
同六十日拂買（同）	五〇弗六分一

鮮銀（金勘定）

倫敦向電信買（一片）	二志〇片八分三
同　二ケ月買（同）	二志〇片八分五
紐育向電信買（金當）	四九弗四分一
上海向電信買（同）	一七〇兩八分三
同　賣（銀當）	四三圓九五
日本向電信賣（同）	四二圓九〇

奧地市況

[illegible]

特產

[illegible]

各地特產發送高

[illegible]

錢鈔

鈔票反撥
材料弱けれど

[illegible]

埠頭在庫貨物（5月24日）（單位瓲）

品名	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	104,798.1	101,276.7
特別混保	22,180.4	—
白眉	745.0	—
青豆	—	—
黑豆	120,320.0	121,347.0
小豆	9,930.1	2,740.0
吉豆	1,184.3	2,284.9
高粱	21,897.5	2,923.0
包米	1,417.9	2,139.8
大米	1,046.1	85.2
小米	342.0	830.7
黍子	—	90.1
蕎麥	598.0	2,768.7
芝麻	67.7	86.8
大麻子	22.0	331.2
蘇子	233.3	1,998.6
子子	1,705.6	207.3
落花生	4,264.2	7,828.0
豆粕	1,201.7	1,484.6
豆餅	22,371.7	22,567.5
豆油	1,995.8	597.0
骨粉	114.2	874.9
豆油	8,815.5	2,308.1
其他ノ油	—	—
木材	2,938.6	20,634.9
鐵	—	77.9
セメント	1,497.9	1,561.7
石炭	2,103.2	1,242.9

暗流阿修羅館（77）
生田蝶介　作
藤井耕　畫

橋場の瓦屋（一）

林の中でその樣な出來事の最中觀音寺では、また行燈や蠟燭が全部吹き消されて、その中で、數人の荒猪組が殺されてしまつた。

二三十人もゐる荒猪組が、その大半は嫁に出拂つてゐて、今宵斬られた二人の屍骸を守つてゐた數人が、いづれも見事一と太刀で割りつけられて絕命してゐた。

そして觀音寺の暗の中を生きた一つの黑い影が步き廻つてゐた。

それが何者であるかについてはこの暗さの中では遂に知る由もなかつた。

朧潔をするなれば、宵のほどに庫裡の暗に二人を斬つてすて、引つゞいて、追つて來た五人を林の中におびき込み、その耳朶を斬りとつてしまつた男が、木皿藏司の御竈りのいたづらをしておいて、そのどさくさまぎれに廻り道をしてこの寺に引かへして來たもので

[illegible]

諸口十九が愈よ來演
六月二日から

[illegible]

若草音樂會

[illegible]

特選新棋戰（六八）

[illegible]

一妻吉物語

[illegible]

【土居八段講評】

[illegible]

【萩原六段解說】

[illegible]

ライオン齒磨

附景品

最高級品

ライオン齒磨

ライオン齒刷子

滿洲日報社主催 全滿洲サービス賣出し

期間　五月廿八日より六月十七日まで（到る處の參加販賣店にて）

ライオン齒磨チューブ入又はライオン齒刷子を

お買上の方に――左記景品進呈

寢る前にも　子供さんにも　この齒磨！

景品

（イ）お買上金額五拾錢毎に、甲種抽籤券壹枚宛進呈（二千枚一組全部にて七十五組）

等	品名	數量	本數
一等	毛布（二枚續）	一枚宛	七五本
二等	毛布（一枚モノ）	一枚宛	一五〇本
三等	婦人洋傘	一本宛	二二五本
四等	小供夏服地	一着分宛	三七五本
五等	大人靴下	一足宛	六〇〇本
六等	印入脂取紙一冊宛洩れなく進呈		

（ロ）お買上總額五圓以上の分に對しては、左記乙種抽籤券一枚宛進呈（甲種抽籤券十枚に對しても乙種抽籤券一枚と引替ふ）

等	品名	數量	本數
一等	日鮮滿周遊券（二等）	一枚宛	五本
二等	金側懷中時計	一箇宛	一〇本
三等	金側腕時計	一箇宛	二五本
四等	毛布（一枚モノ）	一枚宛	五〇本
五等	大人靴下（半打）	一箱宛	二五〇本
六等	印入洋タオル一枚宛洩れなく進呈		

ライオン齒磨本舖　株式會社 小林商店　東京・大阪・名古屋

40—6.5

滿洲日報

一資本金　二百萬圓(拂込濟)
大連市西通
株式會社 大連商業銀行
電話 (長)三四七番　(三)五九〇二番　(四)八五二番　(六)三〇番
一般銀行業務確實に御取扱申候

岩波講座 日本文學

第五次計畫發表　會員募集

東京帝國大學教授 藤村作
東京帝國大學教授 橋本進吉 編
京都帝國大學教授 吉澤義則 輯
東北帝國大學教授 山田孝雄

本講座は特定の大學のみに限られた最高學術の新研究を公開し、一般篤學者に聽講の便を計らうとして企圖されたものである。本講座は國語學國文學の全野に亙つて、現今學界の誇り得るすべての權威、新鋭を網羅し、整然たる體系の下に、最近一二年に鬱積せる新研究の粋を集めたもの、しかも行文平易親切、國語・國文學專攻家及び文學に志を立つる青年諸君は勿論のこと、各學校生徒・學生諸君、中等及び高等教員檢定受驗者諸氏をはじめとして、廣く一般知識階級の家庭に、それぞれ確信をもつて送り得る一大講座である。

國語學 國文學の全野を貫く新研究

一般項目

文學概論 土居光知
日本文學概說 久松潛一
日本文學思潮 岡崎義惠
日本文學研究法 垣内松三
日本文學書目解說
(一)大和時代 澤瀉久孝
(二)平安時代 池田龜鑑
(三)鎌倉時代 山岸德平
(四)室町時代 後藤丹治
(五)上方・江戸時代 山口剛

日本文學史概說
(一)大和時代 澤瀉久孝
(二)平安時代 池田龜鑑
(三)鎌倉・室町時代 齋藤清衞
(四)上方・江戸時代 近藤忠義
(五)明治時代 片岡良一
(六)現代 谷川徹三

言語學概論 新村出
國語學概論 橋本進吉
國語學書目解說 土井忠生
日本文法要論 山田孝雄

特殊項目

日本語發達史 吉澤義則
日本文體史 吉澤義則
國語學史 時枝誠記
日本文學評論史 久松潛一
和歌史の研究 兒山信一
歌學史の研究 久松潛一
日本歌謠の展開 藤田徳太郎
古代民謠史 高木市之助
連歌及び連歌史 山田孝雄
俳諧史の研究 穎原退藏
日本小說史 鈴木敏也
日本戲曲史 守隨憲治
日本漢文學史 小野機太郎
軍記物語研究 五十嵐力
新聞文學 長谷川如是閑
現代文學鑑賞 西尾實

階級鬪爭の文學(古典より現代文學に至る) 三木清
現代新興文學 三木清
童謠及兒童自由詩史 北原白秋
日本詩の押韻 九鬼周造
勅撰集以外の和歌の研究 澤田總作
近世歌人評傳 齋藤茂吉
近世和歌史 佐佐木信綱
芭蕉に影響した先蹤和歌 太田水穗
南朝三帝の源氏物語御研究 和田英松
歐米に於ける日本文學研究 村岡典嗣
日本に於ける英文學の研究 豐田實
日本文學と外來思潮との交渉
(一)佛教思想 和辻哲郎
(二)南蠻文學 新村出
(三)支那文學 青木正兒
(四)歐米文學 野上豐一郎
比較文學 阿部次郎
アイヌ文學 金田一京助
琉球文學 伊波普猷
國語音聲學 安藤正次
國語教育 藤村作
方言研究(江戸文學と方言との關係) 東條操
支那文字學 武内義雄
字體の種類變遷 伊木壽一
假名發達史 春日政治
草假名研究 尾上八郎
古筆學(海外交渉中) 松井簡治

作品及作家

▼大和時代
古事記 倉野憲司
日本書紀 津田左右吉
記紀の歌謠 次田潤
祝詞・宣命 千田憲
風土記 折口信夫
萬葉集 森本治吉
萬葉集 藤森朋夫
萬葉集 五味保義
▼平安時代
神樂・催馬樂 武田祐吉

漢詩集 吉田增藏
古今和歌集 三條西公正
竹取物語 橋純一
伊勢物語 大津有一
宇津保物語 宮田和一郎
落窪物語 橋本佳
倭漢朗詠集 山田孝雄
日記・紀行 西下經一
和泉式部 野田希雄
枕草子 池田龜鑑
清少納言 關根正直
源氏物語 池田龜鑑
源氏物語評論 島津久基
紫式部 石村貞吉
私家集 松田武夫
堤中納言物語 藤田德太郎
菅原孝標女 松尾聰
狹衣物語 入江相政
榮華物語 三條西公正
大鏡 山岸德平
今昔物語 山岸德平
和讃 風土鈴寛
西行 松浦貞俊
▼鎌倉・室町時代
新古今和歌集 風卷景次郎
新古今和歌集 橋本正俊
藤原定家 谷鼎
源實朝 齋藤茂吉
方丈記 佐藤幹二
住吉物語 西下經一
物語文學 野村八良
日記・紀行 玉井幸助
梁塵祕抄 志田延義
平家物語 友枝照雄
平曲 沼澤龍雄
增鏡 中村直勝
徒然草 垣内松三
新葉集 大野木克豐
神皇正統記 小島吉雄
太平記 龜田純一郎
義經記 島津久基
謠曲 佐成謙太郎
花傳書 能勢朝次
世阿彌元淸 西尾實

狂言 笹野堅
お伽草紙 藤井乙男
▼上方・江戸時代
假名草紙 穎原退藏
近松の藝術 近藤忠義
近松の詞章 佐藤鶴吉
井原西鶴 山口剛
芭蕉 小宮豐隆
蕉門十哲 志田義秀
海音・半二・出雲 守隨憲治
鶴屋南北 澀美清太郎
蕪村 岡崎義惠
一茶 荻原井泉水
俳文 潁田九郎
浮世草紙 山崎麓
洒落本 山崎麓
雨月物語 鈴木敏也
八犬傳 和田萬吉
忠臣藏 增田七郎
十返舍一九 麻生磯次
狂歌 野崎左文
川柳 岡田朝太郎
▼明治時代
默阿彌 河竹繁俊
自然主義以前の作家 岩城準太郎
自然主義の作家 谷川徹三
坪内逍遙 本間久雄
森鷗外 木下杢太郎
尾崎紅葉 片岡良一
幸田露伴 齋藤茂吉
樋口一葉 湯地孝
北村透谷 豐田良平
國木田獨步 豐田良平
石川啄木 湯地孝
正岡子規 齋藤茂吉
夏目漱石 小宮豐隆
島崎藤村 木枝增一
白樺派 武者小路實篤
▼現代
現代俳句 志田義秀
現代短歌 土屋文明
現代詩 茅野蕭々

關係項目

日本精神と國文學 藤村作
日本文化史概說 村岡典嗣
國學史概說 竹岡勝也
日本風俗史概說 櫻井秀
上代傳說の比較研究 土居光知
上代民族の信仰 宇野圓空
上代文學にける社會性 津田左右吉
日本文學の發生時代 折口信夫
王朝文學に現はれたる宮廷生活 西岡虎之助
近古文學と時代精神 高木市之助
明治思想界の潮流(評論家を中心として) 安倍能成
日本文學と庶民・町人・遊女・僧侶の生活(平泉澄 海外交渉中)
上方・江戸文學を產める社會的環境 藤井乙男
日本文學に影響したる法制 瀧本正見
民族學より見たる國文學 柳田國男
神話學より見たる國文學 松村武雄
日本美術史概說 團井利吉郎
現代藝術概論 兒島喜久雄
日本音樂 愛常清佐
日本演劇の展開 高野辰之
舞樂(伎樂・雅樂) 田邊尚雄
能と狂言 野上豐一郎
歌舞伎 小宮豐隆
映畫藝術 寺田寅彥
日本洋風畫史 石井柏亭
水墨畫 團井利吉郎
浮世繪 田中喜作
繪卷物研究 田中一松
武器の研究 成瀨一三
茶道・花道 小宮豐隆

申込略規

全廿冊 會員のみに頒ちます
體裁 菊判。九ポイント、總紙各冊分冊箱入、毎回平均四百頁
申込金 一円三十錢、最終の會費に充當
配本 昭和六年七月より毎月一回
會費 毎月拂 一圓三十錢
一時拂 二十四円也
送料 毎月拂 市内六錢 その他十八錢
一時拂 市内一円廿錢 その他三円六十錢

內容見本進呈

東京市神田區一ツ橋通
振替東京一九五四八
電話九段(三三)一〇二二・一六八・三二九・二六六

岩波書店

鐵筋混凝土工の確實なる施工請負者は
東洋コンプレッソル株式會社

營業目錄
特許マルチペデスタル式混凝土基礎杭工事
同 コンプレッソル式混凝土基礎杭工事
同 ウエバー式鐵筋混凝土建築工事
鐵筋混凝土工
其他鐵筋混凝土工に關する一般の請負
特許鐵筋曲機販賣
同 鐵筋切斷機販賣
本社 東京丸の内二丁目十四番地
東洋コンプレッソル株式會社
大連市若狹町一九六番地 大連出張所
鞍山南一條町 鞍山出張所
撫順東六條通 撫順出張所

設計監督 横井建築事務所
大連市紀伊町八五(建築協會二階)
電話三五五九番
工學士 横井謙介
工學士 草野美男

東京電氣株式會社

最新刊
中川千之助 新編 數學辭典 實價一圓八十九錢送料十二錢
中溝新一著 趣味の滿洲 實價一圓送料八錢
高木友三郎著 世界景氣は日本から 實價五十二錢送料六錢
關東 土曜講座 家庭講座 講演集 實價一圓送料六錢
サントスカサニー著 社交ダンス 實價二圓送料十錢
田所哲太郎著 性別の化學的考察 實價三圓四十六錢送料十二錢
御嶋明著 滿洲義軍 特價一圓五十錢送料六錢
金三氏著 在滿鮮人の窮狀と其の解決策 實價一圓送料六錢
滿洲鄕土藝術協會著 正木紀元 作集 實價一圓三十錢送料六錢
菊池寛著 有憂華 實價一圓三十六錢送料十二錢
金尾堂著 少年野球術 實價七十三錢送料六錢
刀江書院著 都市地理研究 實價一圓五十錢送料十錢
菅野秀雄著 南洋ダバオ案內 實價一圓五十錢送料十錢
若槻禮次郎著 歐洲に使して 實價一圓五錢送料六錢
村松梢風著 南華に遊びて 實價一圓八十錢送料八錢
義田正雄著 大阪風景
市川俱太郎著 株で儲ける話 實價四十七錢送料四錢
富田藤吉著 最新商業通論 實價一圓五十錢送料八錢
村越郎著 撞球技の秘訣 實價一圓五錢送料六錢
西郷啓造著 新獨逸文法四週間 實價一圓五十七錢送料八錢
大阪屋號書店

最新刊
長谷川晶子著 隨筆街頭に送る 實價一圓五十七錢送料十錢
中條百合子著 新しきシベリヤを横切る 實價一圓三十六錢送料八錢
カイザーリング著 高信譯 綜合アメリカ論 實價二圓十錢送料十二錢
武者小路實篤著 二宮尊德 實價一圓三十六錢送料八錢
谷崎精二 長谷川如是閑 著 いのちの花 實價一圓八十九錢送料十二錢
黑田禮二著 廢帝前後 實價一圓八十九錢送料十二錢
サントス、カサニー著 社交ダンス 實價二圓送料六錢
村山知義著 左翼劇場 實價二圓九十四錢送料十四錢
吉川英治著 戀ぐるま 實價一圓五十七錢送料十二錢
武川繁彦著 一粒の麥 實價一圓三十六錢送料八錢
[illegible] 著 母 實價二圓十錢送料十二錢
朝日新聞社著 朝日經濟年史 實價一圓五十錢送料十錢
田中峰太郎著 九條武子夫人 實價二圓五十錢送料十二錢
石井柏亭著 村に歸る 實價一圓八十九錢送料十二錢
江戸川亂步著 蜘蛛男 實價一圓五十七錢送料十錢
近藤經一著 富士に題す 實價二圓十錢送料十四錢
前田河廣一郎著 資本シンクアレ 實價一圓五十七錢送料十錢
大日本雄辯會講談社著 式辭挨拶十分間演說集 實價一圓八十九錢送料十錢
滿書堂書籍部

南支の局勢

和平解決は絶望だが　矢は弦を離れただけ

五

そこで軍事方面だが種々説はあるが、その方は今日の所では未だ兩廣の各將領が舊怨を捨てゝ漸く額を合せたといふだけ、種々話合ひがついたとしても軍隊の編成替へや據充乃至はまた軍費や武器彈藥の遣り繰といつた程度であつて實際の作戰計畫までは決まつては居ない筈だ、何となれば總司令たるべしと傳へられる許崇智君が未だ南下の途中にある、總司令は例令陳濟棠君が引受けるとしても長江筋に於ける灰色軍、就中北方に於ける韓復榘軍と共にその向背により南京政府の運命が直接左右されるとまで言はれてゐる、陳銘樞君の部下蔣光鼐、蔡廷楷の兩師が結局の所どう態度を極めるか未だ判らないからだ。

六

蔣、蔡兩師は引續き江西の南部贛州の一帶に在つて共產軍を包圍してゐる譯であるが、萬一之れが背くとなると當然孫連仲も呼應すべく、さうして江西が反蔣派の手に歸すれば忽ちにして漢口、南京の聯絡は絶たれ蔣介石君如何に頑張るも動きの取れぬ窮地に陷るであらう事は必定である、そこで南京側は之れが御機嫌取りに何物をも忘れて居る態であり、現に來た譚は飛んでもない無責任者である陳銘樞君には「お前の苦衷は良く判つてゐる」とばかり廣東を棄てゝ日本へ出發させて居るし蔣、蔡兩師長には別に直接金を與へ地盤を約束して極力引つけてゐる上海に在る蔡廷楷師長の妻女が當座の手附金として受取つた額だけでも五十萬元だといふから何しろ近頃にない大取引のやうである。

七

だが之を反蔣派側に言はせると蔣、蔡兩師長は既に全く味方だといふ事だ、それにはまた種々證據なるものも擧げられてゐるが確に可能性は相當あるやう思はれる例へば

一、兩師長ともに廣東人である

二、兩師の軍費は廣東側で引受けて居る

三、兩師とも昨年來山東河南で失つた兵士の補充を禁止されてゐる

四、殊に蔣光鼐は濟南奪回の殊勳者であり當然山東主席たるべしと言はれて居たのに濟南警備司令たる事三日にして河南移動を命ぜられ蔣介石を怨んで居る

等々の事情からすると實際今にでも廣東側に響應して起つかのやうであるが夫れを鵜呑みに信用するには同じく廣東人であり而して長く廣東に地盤を張つて來た陳銘樞が何故に蔣介石へ義理を立て通すかといふ疑問が起きて來はせぬか

八

兎も角蔣蔡兩師長の向背は未だ謎である、少くとも先般反蔣通電發出後、八路軍側(即ち現在廣東の主人公陳濟棠)が改めて意見徴求の使者を差向けた時までは未だお互に環境を異にしそれに兩師は江西南方の前線に在り四圍共產軍區域に圍まれ前面は又各路軍隊と接してゐるので進退は大いに愼重を要する、即答出來ないのは遺憾であるがその點諒解はして貰へる筈と全く謎の回答を與へてゐるに過ぎない、その後蔣、反蔣双方ともに引續き盛んに使ひを送つてゐるしその時分からすると今日では空氣も大分變つてゐるから或はもう何とか肚は動きかけてゐるかも知れないがまだ表面には現れて居ない。

九

之れを要するに南方の局勢はまだ昨今漸く反蔣派の中心が固まりかけて來たといふまでの所であるから、矢は既に確に弦を離れはしたが今後の變化はまだ見通しがつかない、北方も未だ〳〵醞釀中らしいしどつちにどう片が付くとしても今回は相當長引くものと覺悟してゐれば先づ間違ひあるまい【完、五月廿一日上海特信】

八相

投書歡迎　五十行以內　中傷はさらす

新聞社に望む

土佐町　菅野茂一

◇目下計畫されて居る減俸へは現下の日本財政の危機を救濟する唯一の萬止むを得ざるの對策である、官吏の俸給は先年の好況時代物價の騰貴により生活の脅威を受け一方一般國民は財力の餘裕を示して居た當時幾度か增額された儘である、其後幾年か不況の引續きに今や國民の過半は破產に瀕して居る一方物價は順次下落し生活必需品の多くは四割以下の下落を示して居る此際俸給一割程度の減額は當然であり已むを得ざる事である、一部俸給者の間に減俸により生活の安定を缺ぐとか子弟の教育に困るとかの反對もあるが全日本國民の大多數は現在の收益だけにては衣食にさへ不足を來して居るのである、只是れまで貯蓄して居た大なり小なりの財產を食ひ減じつゝ生活を續けて居るだけであり、此儘數年經過すれば國民の過半數は破產すると云つても過言ではあるまい。

◇此國難的世界の危機に際して官吏だけが何等の犠牲を拂はず物價下落の恩惠だけ利得し恬然として居る事は如何にも不合理である、官吏の中にも多數の方は充分是等の事情も諒察され進んで減俸に賛成される雅量を示して居られる只一部少數の反對意見のみが恰も輿論であるが如く堂々と新聞に發表される事は心ある人の迷惑に感ずる事であると思ふ。

◇今や減俸案の成否如何は將來日本の國力消長の岐路に立つて居る全國民の後援により是非共成功させねばならぬ重大な時機である、宜しく新聞社は此重大性に鑑み一小部分の反對意見のみを物々しく書き立て雷同性を挑むが如き記事は遠慮して貰ひたい特に新聞社の一考を望む。

お答へ　全然御同感です、わが社も今度の減俸は致し方のないものと考へその方針で進んでをります、たゞ減俸反對運動はこれを一つの事件としてその推移を紙面に掲載してゐるに過ぎません、官吏のこんどの運動に對してわが社はこれを支持するが如き態度にはでてをりません(本社編輯局)

デ杯戰の話

本年の豫想と感想

太田芳郎

五、本年の豫想(前承)

彼等は最近またアイルランドの巨人ロージャスを飽して彼の國も破つた、ロージャスはアイルランドが持つ唯一の名プレイヤでまた一九二九年のダブルスには僕のパートナとして中歐に遠征しハンブルグ、ライン地方南獨逸と南下して遂にジユネーブの湖畔に全スイス選手權ダブルスを勝つた僚友である。

十月の風涼しいあのバーゼルの驛に(スイスドイツの國境)五人前のウルスト(ドイツ名產のソーセイジ)を平げ、當時二歳位だつた彼の子供を六尺四寸の肩車にのせて歩いてくれた彼のおもかげが目の前に浮ぶ。

さすがの國際的觀光地のスイスでさへ、この日本アイルランドの同盟旅行には物珍しい眼を見張つて見送つてゐたものだ。

ロージャスや南阿のレイモンドそれから南獨フオルツアイムで、ヒンデンブルグ金カップを物したときのダブルスの相棒だつたバルセロナのマイヤ等は中歐の旅を想ひ出すごとに僕の腦裡を徂來する、チウリヒの湖畔にユングフラウの白峰の下にまた南獨逸の黒い森の邊に六尺餘の大男と小さい日本の子供と歩く妙なコントラストに、どれ位行人の目をふりかへらせたことか。

南阿對英國の一戰は豫測を許さぬものがある。英國のオーステン及び今年初めて上げられたペリー少年が老練なレイモンドの頭から繰出される作戰とカービーやスペンスの猛襲を如何にして退けるか勝敗の分れ目は寧ろ微妙な其の日のコンデシヨンにかかるだらう。

此の試合は六月はじめまでにロンドンまたは南海岸の緑のコートで行はれる。假に英國が勝つたとして日本はこれに對してどんなチャンスを持つか

第一日(佐藤俵對オーステン……1　佐藤次對ペリー……2)
第二日佐藤ノ地對ペリーヒウズ……3
第三日(佐藤次對オーステン……4　佐藤俵對ペリー……5)

さて右の組合せのうち何れの所で點をかせぐか？ダブルスは勝味が少い樣であるからシングルスに於て三點を得ればなるまい。コートは新緑の草の上でオーステンもペリーも好む所、日本としては相當のハンデキャップたるを免れない。だが最近ロンドンの三木君はオーステンを二度も破つてゐるから、たとへ三木君が參加せずとも日本チームとしては可なりのデモンストレイションは與へてゐるわけである。もつとも三木君の樣に既に三年も英國に住んだものと新訪問者とは同日に語れぬ點も出來てくるだらうが。何れにしても五分五分のチヤンスはある。

ヨーロッパゾーン下半の雄は何と言つてもイタリーである。コゼルーの衰えたチエコスロバキヤはアロンソを迎へたスペインに對しても三對二であつた位だからイタリーの敵ではあるまい。アロンソとは往年アメリカで雄飛したマニエルアロンソであると思ふが電文では知る由もない。

伊太利はモルプルゴよりもステファニの方に堅實味がある。ステファニとは兩手を等しく使ふ奇妙なプレイヤで、どんな突差の場合でも、右から左、左から右へとラケットを持ちかえて、決してバックハンドをもたない。但サービスだけは右手である。歐洲ゾーンは結局イタリー、英國、日本、南阿の四國の中の一つが勝ち殘るであらうが、其の何れが出てもアメリカ側からの、アメリカ合衆國には敵しそうもない。

本年のアメリカ側チームは今の所ウッド(廿一、二歳)マンギン(廿三歳位)シールズ(廿一歳)サッター等の若い少年ばかりではあるが、これは對カナダの顔ぶれであり、いよ〳〵となればアリソン、ドーエグ等の超努級が出かけるに違ひない。だがビッガビルチルデンがプロフエショナル入りをしてしまつた今年は何と言つても寂しい。

六、カシブは何處へ

いよ〳〵最後の一戰となる。七度目連續の佛米決勝戰が見られるだらう。パリ郊外オウトウエの森のあのコートにひるがへるは三色旗か星條旗か？

フランスは相かはらずコシエ、ボロトラを立てるだらう。また立てねばならぬ所に彼の國の悲哀があるのだ。ディヴイスカップを保つこと既に四年。アメリカのチルデンジョンストンの堅城を陷れて榮あるカップを始めてラテン民族の間に運んだ時の主將ラコストは既にコートを退いてゐる。ボロトラまた漸く絶頂を過ぎて前途が見え出した感がある。廿五歳を出ない血氣旺溢のプレイヤをもつてヒシ〳〵と固めたアメリカの肉薄を果して何時迄退け得るか！

三十ケ國入り亂れて火花を散らす數十の試合の中でも、特に世界のテニスファンの血を湧かすものは七月下旬のこのチヤレンヂラウンドの一戰である。(をわり)

撫順炭坑秘話 (39)

露名將の續く敗北

平佐二郎

日本軍に海軍の艦隊を夜襲されたアレキセーエフ總監はパルラダ、ツエザレーウイチ、レトウイザンの三艦を破壊され下士以下三十九名の死傷を出したと云ふ電報を直にペトログラードに打ちました。

そして其の明る日の夜には仁川沖に於てコレーツ、ワリヤーグの二艘も撃沈されたといふ電報を又打たせました。それでも五月の上旬に日本軍が南山方面に向つて上陸する迄は旅順に頑張つてゐました。

極東軍總司令官の海軍大將アレクセーエフと滿洲軍總司令官陸軍大將クロパトキンとの二人の手から作戰命令が出て鴨緑江、南山、得利寺のロシア軍が去就に迷つたと云ふ不思議なエピソードも此の頃の事です。

アレキセーエフ大將の旅順脱出の列車が日本兵から狙撃された話、其の列車の中の一客車の車軸が焼け折れ、危ふく脱線を免れた話、東清鐵道の主任技師が之が爲めにアレキセーエフの命令一下免職になつた話などは一切止めて私はペトログラードに於ける日露外交談判破裂の場面の方に移りませう。

[illegible]の二人の主人公の中の紀鳳臺は旅順に經營して居た大きなホテル(今は其跡無し)の一室で何號かの日本美人と泣き別れを惜みながら、ルビーノフ中佐の令嬢ナデージダ、其の夫君のドクトルルイセンコと三人で、取るものも取り敢ずに奉天に逃れました。

ルビーノフ中佐も奉天に出て來て紀鳳臺と色々相談致しましたが恰も軍醫のルイセンコが遼陽のクロパトキン大將の新らたな總司令部附に任ぜられたのを好機として遼陽に移し、數年前から此の地に萬一を顧慮して集中されつゝあつた無慮二萬五千、而して尚續々と歐露方面より集中せられつゝあるロシア軍總主力の軍司令部直屬の御用商人となりました。

轉んでも決して唯では起きない二人の大活動には人々は皆な舌を卷いて驚いたものです。

然し、平佐さん、多くのロシア人が二人の金儲けのうまい以上に此の私共二人の主人公は日本軍の强いのに驚きました。否ロシアの軍隊の弱いのに驚きました。

五月　日の鴨緑江の第一會戰にウスリーコサックのアタマン、ポーチーチ中將は二十八門の大砲を棄てゝ逃げ出しました。北滿事變のさきに奉天城を占領し鍋蓋子や林七の率ゐる大馬賊團を破つたクロパトキン將軍第一の腹心の勇將も日本軍、殊に野戰重砲の威力には一たまりもありませんでした。

鳳凰城に一千のコザック騎兵を率ゐて守備してゐたやはり北滿事變當時の勇將、レンネンカンプフは鴨緑江上流楚山方面から侵入して來た鶴岡永太郎氏の部下の數百騎の馬賊隊の爲に高麗城、五龍背附近の電線を全部破壊切斷されてクロパトキンから大眼玉を食ひました。

然し私は日露の戰爭の話よりも更に面白いペテルスブルグの日露の外交談判の決裂の話の方に移ることに致しませう。勿論日露の滿洲撤兵問題、朝鮮問題を中心とする談判の鍵を握つてゐたのはニコライ二世の唯一の寵臣のベゾブラーゾフであつたのであります。

曠野に築く夢 (63)

大庭武年作　淺枝次朗畫

癮者の秘密 (十三)

秋雨――と言ふには餘りに冷たい氷雨が蕭條と降りしきつてゐた支那S街は泥濘に足踏みも出來ぬやうになり、諸所に出來た水溜りには、暗闇に滲んだ黄色な燈が、雨脚に打たれながら映つてゐた。

時間は初更を過ぎた頃、ぬばたまの雨夜には、通る人も稀である大通りはそれでも雨具をキラキラと光らせた車馬の通行も頻繁であつたが、一曲り裏街に足を踏み込むと、大戸を卸した兩側の家々は徒らにひつそりかんと靜まり返つて、枯れた胡藤があちらこちらで震へてゐるばかり……。

「青蛾なんて調べたつて、得る所のない事は判つてゐた事だ。ちつとも落膽する事なんかないよ。今夜の、譚の行方が知れただけでも儲けものだ。」

頭からすつぽり雨具をつけた二つの黒い影が、小聲で話し乍ら斯うした街をやつてくる。

「それはさうですが、でもまさか青蛾が彼奴を清朝の公達だと信じてゐやうとは。」

「でもひよつとしたら、案外彼等が見込み違ひをしてゐるかも知れない――」

「さうでせうか？」

「わからんさ、直接こつぴどく當つてみなくちや。」

「心細いですね」

「然し十に一分の間違ひだ。猪突的にやつてみるさ。若し相手が圖星だつたら、相手も相當の事をやるだらうから、用心は充分にしてかゝらないといけないよ。それに場所はすつかり此方に不利なんだから、場合に依つてはそこらの支那人を皆敵に廻さなくてはならなくなるかも知れない。」

「大丈夫です！」

「拳銃は大丈夫なんだね？」

「大丈夫です！のオートマテックは珍しい位正確なんです。」

聽て二つの黒い影は、淫賣窟のある陋巷迄來た。

「ぢや、相談した通り、失敗しないでやり給へ」

「承知しました。合圖、待つて下さい。」

影は一つになつた。今宵は素見客もないものと見えて、路次のうちには雨戸から漏れる灯の色さへない。勿論どこからも口笛は起らない――。

トントントン、馬飛秋の表戸が鳴つた。

「你是誰呀？」

檐の小窓から眼ばかりの男が言つた。

「私は青蛾さんの使ひの者なんですが、此方に譚三秀さんが御見えになつておりませんか？」

「譚さん？」中の男はその名を聞くと何故か急に狼狽して、警戒もしながら、

「譚さんはゐないよ。」

「そんな筈はないんですがね」

戸外の男は流暢な支那語で、

「青蛾さんから頼いたものを持つて來てゐるんです。」

「駄目だ！譚さんはゐないんだから」

「どうしても會はしてくれませんか？」

「ゐないのを會はせられるか」

「よし、それなら力づくだ！斯うなつたら此れを射ち込むぞ！」

内の男は矢庭に突きつけられた拳銃に膽を抜かれた。

「開けるか？警察の者だ！」

「呀！警察！」

「開けろ！」

度はづれに脅えた内の男が、やつと入口の戸を開けた。いつの間に合圖したのか、家の中に飛び込んだのは、一人ではなくて二人だつた。

「案内しろ！」

「へい、あの旦那、もうこちらの人殺しが知れたのでござんすか？」

「人殺し？」

「龍志亮つてのが譚三秀に殺されたんですが……」

「えッ！」

二人は棒の如く立止まつた。

「――で、譚はどうしたんだ？」

「その場から逃げちまつたんです、ほんの先程だつたんですが……」

「兎に角、案内しろ！」

二人は躍けるやうにして例の地下室に飛び込んだ。けれど此處は別世界、金佛でゝもあるかのやうにゴロリと床の上に横たはつてゐる男の屍體はその儘に、周圍は相變らずの癮者の世界だ。

「や、龍志亮だ。此奴此處所に此處で！」

庄司刑事は地團太踏んだ。

「さ、お、庄司君。」

撫警部が厳かに屍體を直視し乍ら言つた。

「僕の豫想は的中したれ。兇器は鋭利な兩刃の短刀、傷は一創で鮮かな致命傷、總て黄寶廷の場合と同一だ。譚は正しく『紅髭會』の一員であり、黄寶廷事件の眞犯人だ！」

滿日各地版

奉天

自動車の運轉手受驗者激減
規則改正の結果か

廿八 奉天警察署では自動車運轉手の資格試驗を行つたが、受驗志願者は僅かに七名であつた、一時は全滿的に運轉手志願者は毎回の試驗に願書は山を成し大連では約三百餘通に達したこともあつたが原因は?といふと不景氣の爲に新らしい自動車を購入する數も少くなつた點もあらうが、直接の問題は一度受驗した者で若し其時試驗にパスしない場合は三ケ月間受驗の資格を停止するといふ規則が出ために受驗者が十二分の自信をつけるまで試驗を受けないことになつたゝめである、然し其のため間接的には自動車の實用化が阻害されることも一つの問題とされてゐる

顚落して死傷

蘇家屯、渾河間に假線路を設けたため河南屯河に鐵橋架設工事に從事中の山東省生れ西塔に住む常林(四五)同徐信(四七)同劉德財(二二)河北省生れ十間房に住む實德昌(三七)山東省生れ西塔に住む劉日增(三九)同崔吉祥(二〇)の六名はジャッキを急に緩めたのでガードが轉落し魏はその下敷となり頭部を粉碎して即死し

その他の五名は何れも重輕傷を負ふた、負傷者は奉天に送り永井醫院に入院せしめ加療中であるが生命には別條ない尚奉天署から太田警部補が青島醫師を帶同し現場に赴き檢視を遂げた

解剖體追弔會

滿洲醫大第十七回解剖體追弔會は廿七日午後二時から奉天〔…〕に於て盛大に營まれたが燒香者稻葉學長を初め職員、學生、遺族その他多數あり森幹事の挨拶、僧侶の讀經、職員、遺族、學生、一般の燒香で六時半頃終了した尚同大學の取扱つた解剖體は今日まで千六百一體の多きに上り昨年法會から一年間に二百體となつてゐるが年々增加を示してゐると

伸びる蘇家屯

[illegible]

モーターの普遍
スピード時代の躍進
無屆は嚴重取締る

文化都市のもつ機械化の合理的運動に活生命を與へるものは原動機が主人公である、生產と工業が立體的にスピード化すには動力が最〔…〕ーム、囲鐵磨きの砥石用から煮豆類燒のスコップ、菓子屋では餅搗臼等々の食糧加工製品の原動力に人力を省いて安い動力で行ふさる傾向が最近著るしく增加し現在百五十餘のモーターが動いてゐる、ところがボイラ、モーターを合した總數百八十餘のうち七十七臺は無屆として電力を使用し、ボイラーをたいてゐるので若し萬一の場合があつてはと無屆者に對しては調査を嚴重にすると共に屆出る樣命令してゐる、數日前三浦製材工廠で帽子製造のためのモーター据ゑ付を屆け出たが、ミシン機イシャツ製造機等々にもモーターを使用して生產加工の能率化を計つてゐるものもある

錢遊興

昨年八月一日滿鐵工所の名を騙り三名連れで町おた福で十三圓七十五錢の無錢遊興を手始めに河村工務所、上組、原田組等 名を騙り大膽不敵にも菊廼家、龍廼家等で無錢遊興をなし惡運盡きて遂に奉天署の〔…〕

棒紅

[illegible]

アマチユアの滿洲寫生行
高見成

奉天、撫順間の小驛渾井子附近、赤い瓦がいつてゐます、(三十) 深井子 瓦を容れた甕だか矢鱈に並んでゐます、支那獨特の一風景です。

鞍山

圖書館近く改築
現在の建物は危險多く
一年以上の使用不能

滿鐵本社地方部岡田庶務課長は過日來鞍し昭和七年度の事業費審査を行つたが其の際鞍山圖書館を視察したが、館には一萬三千餘册の圖書を有するも現在の圖書館は家屋古びて居る爲め全部の圖書を階上に整頓することが出來ず九千册を供し餘は倉庫にあると云ふ樣な始末であるが夫でも危險甚だしく一年以上の使用は不可能であると言明されたが實際に新築の必要に迫られて居るから近く具體化し新築されるであらうと

水壓實地試驗

鞍山の排水塔は現在鐵東山にあるが餘り高くない爲め水壓甚だ弱く病院、病立宿舍、演藝館、中學寄宿舍等の大建物の非常時にはその效を奏せぬ故見坊地方事務所長は二十九日市内各要所々々の水栓を開き水壓實地試驗を行ふ豫定である

鞍中の運動會

鞍山中學校の春季大運動會は二十七日午前九時より同校庭に於て開催された、定刻職員生徒一同整列し校歌合唱、矢澤校長開會の辭を述べ合同體操より始まり盛況裡に午後閉會萬歲三唱して散會した

塚本長官巡視

塚本關東長官は沿線初巡視の爲め二十八日午後二時四分着急行列車にて來鞍し地方事務所、警察署、製鐵所等を視察し午後四時發列車にて湯崗子に向ひ一泊した

醫藥學集談會

鞍山滿鐵醫院の醫藥學集談會は二十六日午後二時より三階講堂に於て開催されたが演題及び講演者左の如し

一、結核豫防の根本的概念 伊勢俊三郎

鐵嶺

附屬地への移轉續出の傾向
營業税に惱む支那商

支那側の營業税は轟々たる反對を押切つて實施されたので支那側各方面では此苛税を免れんには附屬地に轉出して日本官憲の保護下に營業するに如かずとし最近鐵道附屬地に逃出、者續出の傾向あり斯くては支那官憲も收税に多大の影響あるものとし華商の營業狀態に對し一層嚴重な監視を行ひ附屬地轉出防止策に腐心してゐると

簡閲點呼期日

當地に於ける本年度の簡閲點呼は來る七月二十七日と確定した、執〔…〕

運動會と運動協會合同

合同の準備を進めてゐた滿鐵運動會鐵嶺支部と鐵嶺運動協會とは愈々兩者幹部及幹旋者との意見一致し合同案も出來上つたので二十七日各方面有力者と共に地方事務所樓上に於て合同の基礎とする新協會設立の委員會を開催協議の結果諸規約に就ての意見も一致し從來〔…〕

五十六商店賣出し開始
サービス賣出し

本社主催輸入組合聯合會後援の全滿サービス賣出しは愈々二十八日より一齊に開始されたがこれよりさき長春では二十六日十三時着列車で本社太原支配人來長、午後八時より久末輸入組合理事の斡旋で長春に於ける代理店金泰洋行主石黑仙治郎本洋行主岡由小太郎氏を始め小賣商店主多數が記念館に集合、久末理事より太原支配人を紹介し太原支配人は全滿サービス賣出に對する各位の大なる努力と支援とを得て有意義ならしめたいと一場の挨拶を述べ懇談會に入つたが二代理店五十六小賣商店は〔…〕

長春

支那官憲の暴行意外に甚し
鮮人迫害問題重大化

長春縣三領堡の鮮農に對する支那官憲の暴行退去問題はその後領事館土屋書記生、長春警察署井上高等主任その他が二十六日現地に出張行により多數鮮人の〔…〕あるが支那軍隊暴行に〔…〕査を進めつゝあるが支那軍隊暴行ので右一行は鮮人居留民會も計畫醫師を帶同させ應急手當を加へさせるところがあつた尚調査隊一行は二十七日夕方までには歸長の答だが前日來より降雨續きであるため二十八日になるやも知れず報測されてゐる、然し支那官憲の暴行は意外に甚だしい模樣で調査隊の歸長後そ、報告次第によつては今後の擴種事情もあるので問題は重大視されてゐる

召集豫習令狀執行
成績は良好

長春警察署兵事係では二十七日の海軍記念日當日をトし市內在鄉軍人四百八十六名に對し充員召集豫習令狀を執行したが今回の召集は從來と趣きを異にし各方面とも無〔…〕警告であつたゝめ應召者は時節柄頗る緊張した模樣である、これよりさき長春警察署兵事係では二十六日午後二時動員準備を進め同四時二十分終了、直に赤紙の召集狀交付を開始したが同六時四百八十六通が配達されてしまつた應召時間は二十七日午前八時、場所は西公園海軍記念碑前で應召結果は屆出不參者百三十二名、無屆不參者七十四名、應召者二百八十名だつた、前回の豫習召集當時よりは非常な好成績を見るに至つた、尚二百八十名の應召者中勤務その他の都合で點呼終了後歸宅した者は二十八名、そのまゝ在鄉軍人分會總會に出席した者が二百五十二名であつたが召集當局側が應召場所に受付を作らなかつたこと及召集者が應召者よりも出席が遲れたといふ事情で文句もあつたけれど事軍事教練に關することで圓滿に解決海軍記念碑慰靈祭に參加した

守備隊の入隊兵

長春獨立守備隊新入隊兵四十七名は六月二日十四時十分着列車で着長に決定したが除隊兵四十一名は本月三十一日十二時三十五分發列車で出發の筈である

人事

▲大岩地方事務所長 二十九日公主嶺往復

▲武波善治氏(長春警察署長) 二十八日十六時三十分發列車にて赴旅

割引乘車券

南滿電氣創立五周年記念の爲め同會社では大連電氣遊園に於て來る三十日より六月十二日まで電氣展覽會を開催するが沿線各地よりの觀覽者の便利を圖り右期間中各驛より大連往復の乘客に限り割引乘車券を各驛に於て發賣すると規定は左の如し

五人以上二割引、十人以上二割五分引、二十人以上三割引

日語校映畫會

鞍山佛教日曜學校後援會主催の下に廿九日午後六時三十分より赤城町演藝館に於て映畫大會を開催しその純益金を同校に寄附し經費に充てる筈であるが宗教的教育機關であるから一般多數の入場を乞ふとプログラム及び會費左の如し

一、慈悲心鳥十三卷、フラ〳〵豪傑七卷、會費大人三十錢、軍人學生二十錢、小人十錢

笑和會例會

鞍山笑和會では二十八日午後七時より壽町倶樂部に於て五月例會を開催し懇談する處あつた

一、鎭靜催眠劑の種々相 香取政夫
一、胃蝕論の變遷 長澤富三郎
一、乳兒審査報告 不破保充
有村功
岩永清

各地の海軍記念日

旅順の祝賀
趣向を凝して

[illegible]〔…〕黃金臺脫衣場に於て祝賀會を開き〔…〕市長の挨拶あり要港部司令長官發聲にて帝國海軍の萬歲を三唱し同零時五十分には海岸數聲にて大元帥陛下の萬歲三唱し衝突に投錨せる刈萱、朝顏二驛艦より乙信號旗檣頭高く揭げる砲聲の砲聲轟き同五十五分在旅發の病院及び在港各艦船は一齊に汽笛を鳴らし、長サ十一間の模擬軍艦大火災を起し見る間もなく一大音響と共に大爆發をなして壯觀な光景を見せ、斯くて午後一時から藥別莊附近綠陰の下に開かれた模擬店が開店され、午後二時から同地黃金臺運動場に於て數番〔…〕角力の餘興が行はれ同四時盛會裡に散會したが運動會はいづれも陸海軍特有な仕組で殊に第十六驅逐艦隊の軍樂隊は感嘆の他ない趣向を見せた、尚午後七時からは昭和園に於て講演と映畫の夕べを行ひ工大教授松本五作氏の「所感」寒河江堅吾氏の「我國の兵制と憲政の發達」久保田武官の「日本海々戰」に就いて興趣ある講演の後映畫「蔚山沖の海戰」其他があり盛會を呈した、因に此日の黃金臺は滿電バスも十餘臺の臨時增發を行ふ人出で海軍班の假裝艦隊市中運行は人目を引き大出來であつた

講演と映畫
遼陽の記念日

遼陽に於ては海軍記念日當日各戶國旗を揭揚して先づ祝賀の意を表し小學校では午前九時全生徒を校庭に集め國旗揭揚式を擧行終つて小運動會開始十一時から講堂で日露戰役の映畫を觀覽せしめた

降雨の中に祝賀の數々
長春の記念日

長春海軍記念日の慰靈祭は二十七日午前九時より催されたがその次第は次の如くで正午頃から降雨ありしも頗る盛會であつた

▲宣傳隊市內練行 模擬軍艦(トラックを裝飾)を先頭に自動車五臺が地方事務所前出發商業學校樂隊部が乘込み賑々しく市內を廻つてビラを撒布九時半西公園海軍記念碑前に到着

▲海事講演 九時から十時まで商業學校岩坂杢三郞、女學校室岡俊範、室町小學校宮本嘉久二、西廣場小學校小笹進の各諸氏が熱辯を振つて聽衆を感激せしめ大成功を收めたが講演終了後西公園祭前に向ひ

▲碑前慰靈祭 十一時半から第四驅隊を最前列に海友會、警察官各學校、各團體の順序で整列、祭主玉串奉奠、遺族並從業者、領事等の玉串奉奠後軍隊以下順次參拜したがこの頃(正午頃)から降雨となりしも嚴肅裡に參拜を終つた

▲記念祝賀會 記念碑裏にすつかり用意されてゐたので遂に雨中の祝宴となつたが、君ケ代の合唱、兩陛下萬歲、帝國海軍の萬歲を三唱、折柄土砂降りになつたゝめ立食の辨當は開かずそのまゝぬれ鼠になり散會したが寧ろ戰時氣分をみなぎらしてゐた然し禮服着用者は氣の毒であつた

官民合同の祝賀會は正午から公會堂に於て開催百數十名の出席者振鈴と共に着席有賀地方所長開會の辭、多門師團長の發聲で帝國萬歲、山崎領事は帝國海軍の萬歲を發聲一同之に和し立食の宴が開かれ午後一時解散した

在鄉軍人分會と地方事務所の主催で午後六時から旅順碇泊軍艦淀の航海長實松大尉は小學校講堂に於て二時間餘に亘る講演あり終つて日露役の日本海々戰に關する映畫「擊滅」を一般に無料公開した

撫順

海軍記念日撫順に於ては栄米各戶國旗揭揚一十七日午後三時より永安臺上競技場に於て記念式が十四班の在鄉軍人並一般列席裡に行はれた定刻一同整列、國歌奉唱裡に海軍旗、軍旗の揭揚式は莊嚴裡に行はれ、山口鄉軍分會長の勅諭奉讀、一場の挨拶につぎ佐藤部長の訓示あり右終つて土生鄉軍副會長の鄉軍五年度に於ける行事報告優勝旗返還式後三時半より十四班各粒選り選手を網羅する鄉軍特有の勇壯なる競技の幕はきつて落されたが、波瀾大接戰の末「手榴彈投擲」走幅跳、五百米繼走等の各班總合點を以て勝敗を決し第八班東鄉三十九點を占め一等となり四年振りに榮ある優勝旗を獲得、各等次の如く決定夕闇迫る午後七時盛會裡に散會

△一等八班三十九點△二等十一班古城子三十八點五△三等九班老虎臺三十八點△四等五班三十一點五△五等十班龍鳳二十七點五△六等二班機械二十七點△七等十四班製油二十三點△八等七班發電所二十點△九等六班大山十七點△十等十三班經理十五點五△十一等四班警察十三點△十二等三班工事十三點△十二等一班庶務六點△十等二十六班市中六點「個人優勝者」△手榴彈投一等十四班馬場政雄△二等十〔…〕班西尾時雄△走幅跳一等八班柴田義敏

因に競技優勝者賞狀を授與されたるものは第八班の左記五氏である股野仁平、柴田義敏、増本門衛門、立石忠行、武錫好雄

營口

二十七日當地に於ける海軍の記念祝賀會は同日午後六時から營口公會堂に開催されたるが來會者約百五十餘名非常に盛會であつた開宴に先だち約一時間に亘る小林海軍少佐の海軍に關する詳細なる講演あり華府會議倫敦會議及海軍の比率問題に論及し來會者に深き感銘を與へた

鞍山

鞍山に於ける二十七日の海軍記念日は正午より實業協會堂に於て記念祝宴會を開催した出席者約十名に達し見坊所長の挨拶あり富永次長の發聲にて大日本帝國海軍萬歲を三唱し盛況裡に散會し直後別室に於て塚本長官歡迎方法を協議したが前例に倣ひ驛頭に於て歡送迎を盛大にすることに決定した

優勝したチームが滿鐵三支局主催の普魏金三地方野球リーグ戰に出場する資格を得るの 各チームは必勝の意氣物凄く猛烈な練習を續けてゐる

旅順

〔…〕にばひ▲滿電も遂に大盤振舞〔…〕黃金臺往復の臨時運行で意外の大收入を見た▲樂隊に惠まれぬ旅順は又別して催し事の多い處いつもそれを痛感する時驅逐隊の兵員が案出した二十餘名のブラスバント大太鼓には四斗樽眞二つにて兩側へ帆布を張つて絕えずシメりを與へ立派な音響を發し其他の樂器も手製で作り上げた頭の好い處を見せた事は數千の觀衆一齊に感心イヤ感激して仕舞つた▲又運動競技中機關兵が洗面器雨衣を利用し豪焚き基準姿勢の十能操法技は巧妙と云ふより外はない其他のサンドレ トリリ而砲隊の運搬リレー驅逐隊の降營競走の如きは軍隊獨特の興味百パーセントである▲例年の事乍ら海軍記念日の催は確に市民をして興味を持たす事は確實で旅順も來る六月八日の招魂祭を最後に年中行事の祭事も終りを告げる▲此招魂祭が濟むとモー河童の跳躍た淸々しい綠蔭を縫ふ海風に惠まれた旅順の聖地誰れしもが叫んで曰く「コレで滅法風が吹かなかつたらなアー」

釋迦降誕祭

公主嶺佛教團に於ける釋迦降誕の花まつりを二十四日午後一時公會堂に於て盛大に執行した祝式後小學生を先頭に稚兒行列は全市を一巡夜に入り活動寫眞等に公園は人出が多かつた

開原

守備隊の入營兵

開原守備隊本年度後期入營兵四十六名は來る六月二日午前六時三分着臨時列車にて開原驛着入隊するがこれにて新設守備隊の編成完了するさ

吉林

吉林小學校記念日
三十日に擧行

吉林尋常高等小學校にては來る六月一日を以て創立滿二十周年となるに付き當日を期して記念式を擧行する筈であつたが都合に依り五月三十一日に繰上げて左記の通り記念式記念祝賀會を催す事にした

一、記念式五月三十一日(日曜)午前十時より學校主催にて

一、祝賀會 同日式後、全吉林居留民、父兄會主催會費一圓にて

三、記念唱歌會 同日午後七時より於講堂、學校主催

尚當日より着手する記念事業

1、兒童用圖書購入(記念圖書室新設)

2、記念雜誌發刊(全吉林日本人發展史と云ふべきもの)

3、生活資料展覽會(全吉林を背景とする市民館とも云ふべきもの)

4、運動各施設の充實

5、動植物飼育施設

以上の通りで木村校長以下各職員は之れが準備ため寢食を忘れて忙殺され完全なものを造り上ぐるため最大の努力を識して居る

撫順

來る六月三日に聚樂舞臺落成式
未曾有の賑ひを呈せん

滿洲に於ける中國勞働最大の娛樂場が撫順に出來た、右は炭礦が從業勞働者慰安機關充實計畫のもとに既報の如く歡樂園に工を急いでゐた約一萬人を容れ得る無料劇場「聚樂舞臺」である、鐵骨コンクリート煉瓦の約二萬平方米突の壯大なものである、舞臺だけでも百三十二平方米突、椅子席等まであり何かく立派なものだ、來る六月三日娘々祭の日を期し落成式を擧行する、當日は撫順背後地等より繰出して來る老若男女合して實に十萬に上るべく、人出の多い點に於て一年中撫順で一番賑ひを呈する日である、本年は前記聚樂舞臺の落成式もあるので十幾ケ所の各採炭所その他職場からもした餘興を催す事になつて居り未曾有の賑ひを呈する答だ、右餘興中既に決定せるものは

古城子從業華工の秧歌、汗船、東鄉坑の少林會、獅子、老虎臺坑の假裝行列、秧歌、大山坑の龍七八種、機械工場、發電所の高脚踊、工事々務所の少林會、經理の獅子、汗船、小車等々その他各課所の華工連も秘密裡に大向ふを驚倒さすやうな餘興を考案中だ、因に當日は全炭礦は一齊に休業日と一團となつて中國勞働者と此の日を享樂する事になつてゐる

撫順 人事

▲多門第二師團長 廿六日午後七時十二分着列車で歸遼

▲郡滿鐵土木課長 廿六日夜歸連

▲三科秀夫氏(新任貨物主任) 廿六日急行で着任

▲福島旅團長 廿七日朝北行

炭都雜信

藤間勘若、稻垣滿壽子兩孃の舞踊の夕は二十八日午後七時より撫順高女講堂に於て盛會裡に催された藤間孃の越後獅子、唐人お吉始めウグイスの夢、マリと殿樣、民謠の旅等何れも純日本古典的舞踊として大出來であつた

◇

二十七日午前十時撫順高女ボーイ宋錫昆(二〇)は某教稿幽靈坂を自轉車で疾走下降中坂下の煉瓦置場に激突顏面血みどろ

遼陽

太子河の築堤で氾濫の不安去る
廿七日から工事開始

滿鐵で計畫中であつた太子河の氾濫を防止する北岸方面の築堤工事は福昌公司の請負で廿七日から土工に着手したが同築堤は下幅十五米突、上幅三米突の大堤防で完成の上は太子河の氾濫恐るゝに足らずと附屬地居住者は期待して居る

步兵隊の演習

遼陽駐劄步兵第十六聯隊は廿六日から櫻桃園附近に於て演習中であるが廿九日頃歸遼すると

新宮子神社

新宮子神社周圍の土壇は從來樹木を以て壇としてゐたが今回氏子會費より百三十餘圓を支出して立派な白木の土壇を施設すべく氏子總代會議に於て決定し更に農業組合から百六十圓を支出して石燈籠を獻納すべく申したのでこれが工事につき氏子總代から認可方を出願したるが完成の曉は境內の尊嚴を一層神々しくするはずで認可あれば六月一日から着工の豫定である

草花を分讓

當地公園事務所では溫室に培養中の草花二百三十餘鉢を希望者に對し實費分讓する由値段は十錢以上一圓位までありゴム、ベコニヤ、アスパラカス、ゼラニウムを始め多種多樣の珍花あり明三十日より申込み順によつて分讓するにつき希望者はなるべく早く來られたしと

接客美人投票

全撫の人氣を沸騰せしめ順順新報催しの接客美人人氣投票は約二ケ月に亘り混戰亦混戰の結果二十六日午後五時を以て締切り同社では徹宵投票紙整理二十七日午後漸く決定したが斷然一等の榮冠を得たのは旅亭山陽樓の「一次」孃で入賞者は左の十名であるが蓬萊館美妓連の如き三人共入賞萬丈の氣を吐いてゐる

△一等四萬三千八百六十二票山陽樓一次△二等四萬一千百八十九票美登里の萬丸△三等三萬二千二百十四票蓬萊館豐△四等二一二八票東海樓久江△五等一三一七二票文乃家花子△六等一二八一四票蓬萊館十三子△七等一二一九六票サンジョージ綾子△八等一二二六七票一二三△九等六七三六票蓬萊館團子△十等六五一六濱美家宮丸

金州

警察の取締りでエロ黨影を潜む
警察では尚取締續行

此の惱ましい季節に大連での享樂を求めて、程遠からぬ金州まで出張り、念入りにも南山の松林の中で思ふ存分人生の快樂に陶醉して、遙かまはずエロチックなシーンを描き出しにするものがタクシーやバスの便利がよくなつた關係で去年あたりから非常に多くなつたので、警察でも異樣な眼を光らした効目があつてか今年に入つてから全く影を潜めてしまつた、それでも南山の靈地を汚しては言ふのでお巡りさん方ではまだ〳〵嚴重な見張りを續けてゐない

野球選手權大會を開く

六月七日に內外綿球場に於て青年團主催の下に全金州野球選手權大會を開くことになつてゐるが出場チームは內外綿のA組、B組、實業團、民政署、驛の聯合軍、城內軍の五チームで、此の選手權試合に〔…〕

瓦房店

機關區縮小で代表滿鐵訪問

既報の如く瓦房店機關區縮小問題は其後對策に關し在住市民代表として保太郞、森吉太郞、森田彥三郞、喜久治の四氏二十六日滿鐵本社鐵道部に猶出次長を訪問し其の善後策に就き嘆願した猶出次長は滿鐵の計畫に依る機關區の縮ふは今更何と云ふても中止する事は出來ぬが之の爲め市民の蒙る打擊は誠に氣の毒であり之に代るべき何等かの施設に付ても其の向々へ協議はしてあるが未だ是ぞと云ふ考案もないので困つてゐる何かよい問題でもあるならば此の際だから大いに考慮する故地方事務所長を通じて研究して貰ひたい縮小の結果空家の出るのも想像せらるゝが可成乘務員を增して出來るだけ補充したい

その意味であつたと

度量衡器檢查

金州民政署では管內の度量衡器檢查を二十八日から開始したが來月十日を以て完了する筈

旅順

舊市街軟式野球組合せ

旅順實業團主催第十回舊市街軟式野球大會は二十六日チーム代表者參集の上試合の取り並に組合せは左の如く決定した尙球場は總て實業グラウンドを使用し入場式は三十日午後一時三十分より擧行前回の優勝チーム實業クラブより優勝旗返還式を行ふ

▲第一回戰 (イ)學窓クラブ對ヤングクラブ三十日午後二時

▲不戰一勝者戰 (ロ)遞友對アカシヤクラブ三十日午後四時半、(ハ)カレッジアン對記者團三十一日午後二時、(ロ)醫院クラブ對ミドリクラブ三十一日午後四時、(ホ)法友クラブ對(ロ)の勝者六月二日午後四時三十分

▲準決勝戰 (ハ)の勝者對(ニ)の勝者六月三日午後四時半、(イ)の勝者對ホの勝者六月四日午後四時三十分

▲決勝戰 六月六日午後二時

營口

商議役員會

營口商業會議所では二十六日夜役員會を開き加賀會頭、安彥常議員、日下書記長より大連に於て「大連奧地向貨物運賃割引問題」の交渉經過を說明 三井支店長加藤武濟氏より營業稅、統稅問題及連河收修附加稅引上げ問題の說明をなし終つて二十七日東京に開會の日本商工會議所委員會 出席中の滿洲代表委員に對し治外法權撤廢問題は現下の支那の情勢に鑑み時期尙早なれば極力軟弱外交を排して邦家の權益擁護に努力されたき旨の激勵電報を發することに一決し閉會した

露天市を開催

營口輸入組合加盟の平本洋行乃吳服店、菊屋、重田屋、三井商店美吳服店、山住洋行、山內堂、辻岩田商店、熊谷商店、須崎吳服店池內商店、田口商店、大鹽洋行榮軒の十五商店は三十日清林館旭街東側路上に於て露天市を開催するさ

公主嶺

青年團旗奉戴

公主嶺青年團は內地に注文調製中であつた團旗が出來到着したので二十五日午後四時 公主嶺神社に於て多數官民參列團旗奉戴式を莊嚴に擧行した

藝妓寄附演劇

朝日町佛心寺本堂改築費寄附金募集のため公園やまとでは抱妓總動員の寄附演劇を三十日午後六時より公會堂に開催することになつた當日の上演は阿波の鳴戶二場鐵見山及安達ケ原二段目當業の袖萩は彼女の十八番であるさ

映畫會盛況

帝國在鄉軍人會公主嶺分會では事業資金調達の一部として嚢にカジノドフオリー座の上演に際し分會で取扱つた入場券を利用多數の來觀者に厚意に酬いんため帝國軍事教育普及會が過去二年有半の努力と多大の經費を投じ完成した大軍事映畫(戰友)を二十六日午後六時半より牛頭にて公會堂に上映したところ在滿邦人の見落すべからざる一種の國家的記錄なので大多數の來觀者に場內立錐の餘地なき滿員の盛況を呈〔…〕

紅い夕日

◇…北寧鐵路局では護路巡警、各驛長、車務係長等にたいし最近共產黨が鐵路破壞を目的として特別班を組織し活動するため各地に潜入した形跡あれば嚴重路警方面と共產黨の警戒をなするやう警告した(奉天)

◇…張學良氏の令弟張學曾氏は前江西督辦孫成助氏の令孃と婚談纏まり六月中旬華燭の典を擧げると(奉天)

◇…支那側官憲にては匪賊の未然防止警戒の爲め六月一日を期し縣下全般に亘り逃亡兵、匪賊、遊民不良警官、遊民、無職流等の捕擊をなすと〳〵なつた(營口)

◇…二十四日の夕刻より瓦房店附近に雷鳴と共に降雨があつたが午後十一時頃西南方に數條の火柱の如き電光と共に轟然たる雷鳴あり住民何れも深夜の夢を破られて中には地震と間違へ子供を抱へて立騷ぐ狀態であつた後に復縣公署前方の記念碑に落雷し高さ一丈五尺の碑石を八つ割にして打飾したが附近支那人數名が一時氣絕したそうだ(瓦房店)

◇…大石橋迷鎭山の娘々祭は六月一日から四日間擧行さるゝので沿線各地から押寄する參詣者のため滿鐵にては例年の如く臨時列車を運轉し迷鎭山南側に臨時乘降場を設け三等に限り五割引をなすと(營口)

市中の噂

二十七日黃金臺で擧行された第二十六回の海軍記念日は全く豫想外の人出で大し〔…〕

婦人と美粧

人生を美しく ―女性を麗はしくする― 優良白粉の眞使命

世界に誇るべきクラブ白粉の美的效果と醫學的價値

多くの化粧品の中でも特にクヰーンの美を誇るものは白粉でありませう。それだけに白粉の選擇については、細心の注意を要する譯です。

まづ第一に 大切なのは絶對無鉛であること

であります。含鉛白粉を用ひれば、どんな弊害があるかと申しますと、その使用者にあつては恐ろしい鉛中毒を起す虞れがあり、更に母親、乳母等にあつては可憐な乳兒をも所謂腦膜炎（鉛中毒に因る）のために犠牲とせなければならぬのであります。

それではどんな白粉が絶對無鉛で安心して使へるかといふ點について、我國皮膚衛生學界の泰斗である三内醫學博士は最近十數年間における全國各地の大學、衛生試驗所其他の權威ある諸學者が試みた精密なる衛生的試驗の結果を綜合觀察した結果、クラブ白粉ならば絶對無鉛で衛生上安全であることを的確に立證し得たのでした。即ち、大正七年以來十數年に亘り

京都市立衛生試驗所二回
杏雲堂醫院胃腸科
京都帝國大學醫學部
大阪市立衛生試驗所二回
長崎醫科大學醫學部二回
東京帝國大學醫學部
熊本醫科大學小兒科
九州帝國大學醫學部二回
内務省東京衛生試驗所二回
朝鮮總督府醫院小兒科
岐阜縣衛生課
愛知醫科大學小兒科
京都府立醫科大學小兒科

等における

前後十八回の嚴正精密な衛生的試驗の結果

は悉くクラブ白粉が絶對に無鉛であることを報告してゐるのであります。

しかも、新時代の白粉はただに無鉛であるのみを以て滿足すべきものではありません。近代女性美の要素である健康美、化粧美、精神美を創造するために、新時代の白粉は絶對無鉛であることを第一條件として具備するは勿論

夏に進んで 皮膚を保護しその健康美を増進する

とともに明るく朗らかな化粧美を與へ、自ら氣品を高めて尊い精神美の發露を促すものでなければならないのであります。

クラブ白粉は實にこの理想を實現した現代の最優良白粉で、新時代の化粧品としての條件をすべて具備して居ります。即ちクラブ白粉は

一、**分子** が極めて微細で、ツキもノリ、ノビも申分なく、從つて濃淡自由自在のお化粧が出來、しかも高尚な美しさを永く保つこと。

二、**色合** は白色、肌色、水色、桃色の四色があり、人各々の皮膚に適した個性的な美しさを發揮するに十分であること。

三、**原料** は最も精選した純良なものを用ひ、絶對に無鉛であることは勿論、保健衛生上有效な藥品の配合によつて、皮膚のアレを防ぎ、またニキビ、汗疹、雀斑其他の吹出物を防ぐとともに殺菌力をももつてゐること。

この誇るべきすぐれた美的效果と醫學的價値をもつ純良無鉛のクラブ白粉は現代婦人の旺んな愛用によつて人生を美しく女性を麗しくする優良化粧品の尊い使命を遂行しつつあります。

科學の驚異

カテイ石鹼クラブ石鹼の素晴しい殺菌力と すぐれた皮膚清淨作用

若葉を渡る 風爽かに 洗顏入浴の最も快いシーズンが訪れて來ました。朝に夕に洗顏、入浴、化粧用として使用される石鹼が皮膚を美しく清潔にするばかりでなく、素晴しい殺菌力を持つてゐるとしたらその歡びはどれほど大きいものでせう。それは實に美と健康の増進上大きな貢獻をなすものであります。

この驚くべき事實が三内醫學博士によつて報道され近代科學の驚異として學界ばかりでなく一般注視の的となつてゐます。

それは、優良な化粧石鹼として唯今最も多く一般に用ひられてゐるカテイ石鹼クラブ石鹼について三内博士が

行つた實驗 で博士は まづ節腫又は癰疽の原因となる化膿性球菌四千、百三十四個をカテイ石鹼クラブ石鹼の百倍水溶液に投じたところ、三十分後には生存するもの僅に十五個となり一時間後には全部死滅するといふ結果を見たのでした。

尚ほその他の **有害細菌類** についても試みた實驗においても略ほ同樣の成績を得ることが出來ました。

これ等の實驗成績によつてカテイ石鹼クラブ石鹼は水溶液において強大な殺菌力を持つことが知られるのですが、しかもカテイ石鹼クラブ石鹼が日常家庭で實際に使用される場合は、この實驗よりも遙かに濃い約數倍乃至十數倍のものですから、その殺菌力も頗る強烈であるべきことが容易に想像されるのであります。

博士は更に 第二第三の實驗を試み、カテイ石鹼クラブ石鹼が實に明確な皮膚清淨作用を發揮するとともに絶對に皮膚を荒さないことを併せて報告されたのでありました。

女性美の新人層 美の世界への目覺め

『クラブクリーム三種』の效果と適當な用ひ方

美しい女性――それはあたかもそらのやうに明朗で又健康的でなければなりません。同時に叡智に輝く典雅な美しさをも備へてゐなければならないのであります。この進んだ美的要求を充すために、近代女性は化粧をするに當つても、まづ化粧品の品質をよく理解し、その機能を十分に發揮するやうに使用されることが必要となつて參りました。化粧品の中でも最も廣く一般に用ひられてゐるクリーム――クラブクリームの三種についてその效果と正しい使用法を御研究になることは、新しい美の世界への目覺めの第一歩と申すべきでありませう。

×　×　×

まづ第一に、有名なクラブ美身クリームは

三内醫學博士の嚴密な實驗で 證明されてゐる通り

數十種の内外産クリーム中アレ日ヤケ止めとしての效力實に第一位の成績を示した現代の最優秀クリームであります。すなはち、クラブ美身クリームはアレを止め日ヤケを防ぐ醫學的效果が斷然すぐれてゐるばかりでなく、強大な殺菌力をもつて皮膚を保護するとともに塵埃黴菌等による外界からの刺戟を完全に防ぐ效力を持つて居ります。また皮膚に榮養を與へその生理的機能を旺んにして血色をよくし、ニキビ、アセモ等の吹出物を豫防し化粧下としては生地を整へ白粉のツキをよくし、明朗で典雅でしかも健康的な輝かしい近代女性美を發揮します。この優秀な

クラブ美身クリームの姉妹品 として新しく生れた

クラブ淡白クリームは無脂肪性の純良なクリームで、特に皮膚の過剩脂肪を調節する效力を特長とします。從つてこのクラブ淡白クリームは皮脂分泌の多い脂肪性の人々に實に理想的な美身料で一名乾性クリームとも呼ばれ、つけ心地が非常に爽かで少しも肌にベトつきません。しかもニキビやアセモを防ぎ、アレ日ヤケを止め常に皮膚を若く美しくしますから、汗や脂肪の分泌が盛んになるこれからの季節には殊に適當な美身料で、薄化粧下としても非常によろしい。

クラブ淡白クリームと同時に完成されたクラブ美身クリームの姉妹品クラブコールドクリームは、特にアレ性の人から非常な好評を受けてゐます。クラブコールドクリームは純脂肪性クリームの第一品で生れつきアレ性の人や皮脂分泌の少い皮膚のいつもカサカサしてゐる人に最も適します。このクラブコールドクリームは

アレ止めとして特に偉大な效果 を發揮するとともに

日ヤケを防ぎ皮膚に適當な榮養を與へ、また皮膚清淨用としては、皮膚の表面や毛孔などに附着侵入してゐる汗や埃等を皮膚を少しも刺戟せずに取除く作用がすぐれてゐますから、就寢前のナイト・クリームとしてお用ひになれば、安らかな睡眠の間に皮膚を根本的に若返らせます。殊に皮膚の硬化を防ぐ作用が著しいために、中、老年の人の皺の豫防用としても極めて有效で盛んに愛用されて居ります。

美しい齒は健康の象徴

美貌の第一條件

美しい齒は健康の象徴であり、また美貌の第一條件であります。最近世界各國で行はれてゐる代表的美人の選定にも、齒の美と健康が大切な要素として重んじられてゐるのを見ても齒の健全は美容上健康上實に重大な役目を持つものであることが判ります。クラブ齒磨本店は夙くから東京、大阪に中山口腔衛生研究所を設け濱野醫學博士はじめ權威ある專門大家指導の下に熱心に齒科診療の實際に當るとともに、一方クラブ齒磨口腔衛生部を組織し講演に映畫に齒科自動車診療に全國的活動をなしつつありますが、更に一層口腔衛生思想の普及を圖るため、本年四月三日を以て家庭一品クラブ齒磨を發賣し、非常な好評を博して居ります。

この家庭一品クラブ齒磨はクラブ本店の内外人技師多年の研究と、中山口腔衛生研究所の權威ある齒科醫學者の臨床的實驗に基き完成されたもので、その品質效力の最優秀であることは勿論、しかも、煉齒磨大廿錢中十錢、粉齒磨大五錢といふ驚異的廉價は、クラブ本店が多年唱道し來つた産業合理化、科學的經營による良品廉價の理想を實現したもので、國民保健增進への偉大な貢獻といふべきであります。

―美は婦人の生命・社會の精華―

簡素なうるはしさ 艶麗な美しさ 思ひの儘に 好みの儘に 濃淡自在の クラブ白粉

近代化粧のメーク アップ

近代化粧の第一歩はまづ洗顏からはじまります。洗顏には皮膚のアレないカテイ石鹼かクラブ洗粉を用ひませう。白粉下はクラブ美身クリーム（特にアレ性の人はクラブコールドクリーム、脂肪性の人はクラブ淡白クリーム）襟にはクラブつぼみをよく擦り込み生地の色に適はしいクラブ白粉をクラブ化粧水で溶いて板刷毛で何回も塗り牡丹刷毛で均し水刷毛で落着かせガーゼ又は手拭で濕りをとつた後、クラブ粉白粉かクラブ刷白粉を輕く刷きクラブほゝ紅で鮮やかな健康色を添へ唇にはクラブ口紅を、眉にはクラブ眉墨をつけますと見るからに明るく朗かな近代化粧が出來上ります。

（寫眞は桃井ナミさんと高津愛子さんのメークアップ……クラブ美容部にて）

セル着る頃にふさはしい 明るい新鮮な初夏の薄化粧法

若草山の緑日に濃く薄着のセルの懷しい肌ざはり――草も木も人の心も自らすこやかにおほらかに伸びてゆく大陸の初夏は全くスマートな薄化粧のシーズンです。外出に、訪問に、ピクニツクに、また御家庭での朝夕のお身嗜みや女學生方の日々の御整容に、僅か一、二分で出來、しかも日ヤケを防ぐ明るい新鮮な初夏の薄化粧法三種――。

まづカテイ石鹼かクラブ石鹼とクラブ洗粉でお洗ひになるか又はクラブ乳液かクラブ美身ゼリーを脱脂綿に浸して顏から頸筋をよく拭つた後、

クラブビシンの薄化粧法

便利白粉クラブビシン（白色、肌色）の少量を掌にとりクラブ美身クリームをつけるやうにしてお擦り込み下さい。見る間に清新な薄化粧が出來上ります。

カテイフードの薄化粧法

或はお肌の美を養ふカテイフードの數滴を兩掌で擦り込み、クラブ刷白粉かクラブ粉白粉（白色、肌色、桃色）をパツフで輕くお刷きになるのもよろしい。潑剌たる近代美が忽ちの間に生れます。

海綿用クラブ白粉の薄化粧法

またクラブ淡白クリームを薄く引いた上へ、最新式の海綿用クラブ白粉を添附の海綿でサツとお刷きになつても、お顏は朗かな美しさに輝きます。

虹と兜虫　(138)

龍膽寺雄作　一木弴畫

鎧武者（二九）

寶藏の奥へ樟腦の匂ひと一緒に深く秘められた數々の古器具珍寶が時折蟲干しに運び出されては陳列される講堂。花見の宴で木蓮閣をとりまいた森の空地々々は、灯りと人聲とに今宵は生き生きして居るのに、さすがにここばかりは古びた歴史の匂が闇に立籠めて、針の落ちたのも聞こえさうな靜けさです。

「どうするの？」

妙なところへ珊瑚に誘ひ込まれて、苦太郎は不審顔です。

「だって」

と、珊瑚は内からドアを閉めきって、闇の中で苦太郎の耳へ唇を寄せて

「誰も居なくて丁度よかない？隠れるのには……」

「だッて……」

「いゝのよ」

珊瑚はおッ被せて――今度は不意に苦太郎の手をとって、闇の奥へ引ッ張るんです。

「そこに長椅子があるのよ。れ？……かけませう。さ。こゝンとこよ」

「………」

心細いほど森とした闇です。

「あんた天狗猿の瑠好き？」

「……！」

「れ、好き？」

「なぜさ」

「あたし、でも木島さんに聞いたわよ。あんた瑠と兜の留守に天狗猿で變なことしてたの見たッて……」

「嘘だい！」

苦太郎は眞ッ赤になって頸を振るんです。

「いつ？」

「お正月すぎ雪が降った日だったわ」

「………」

「何をしてるとこ木島さんに見つかったの？いゝのよ隠さなくたって……」

「………」

珊瑚の手がいきなり苦太郎の頸へからんで、グイと頬べたを引寄せるんです。

「白状しなきアあたし蟹仙窟のおぢいさんに告げ口するわよ、よくッて？」

「だッて、おいら……」

「いゝわ話しちやふから！」

「嘘だよ、そんなこと」

苦太郎はヤッキになって

「お正月ッてえさ……ぢや多分おいら瑠と腕角力なしてた時だ！きうだ。あの時木島さん雪掻きた縁みにおいらをさがし廻って、丁度天狗窟でおいら瑠と爐にあたりながら腕角力なしてたところへヒョッコリ來たんだ。何遍やってもおいら負けるんで、瑠があんまり威張るもんだから、今度爐の軸を挟んでやったら、痛いんですぐに瑠があやまっちまって……」

「怪しい腕角力だわ」

珊瑚は口を挟むんです。

「でも、木島さんは變なこと云ってたわよ。あたし聞いたわ」

「何て？」

「あんた白状しなきアあたしだって話さないわ。あたしもう手袋もシャッポも編んであげないからいゝわ」

「だっておいら、何も……」

「あんた一體、瑠が好きなの？瑠をお嫁さんにしたいの？」

苦太郎は珊瑚に闇で抱きしめられたまゝ、慌てゝ頸を振るんです

「れ、あたしと瑠とごっちが好き？」

「………」

「れ、ごっちが好き？」

「そりア……」

「そりア？」

「だってわかってるぢやないか」

「わからないわ、あたしには……どッちが好き？」

「おいら無論……」

云ひかけて、ふと苦太郎は口をつぐんで、闇の中で頸をドアロへ振向けるんです。妙なものの氣配と一緒に風の樣にドアが開いて、不思議な黒い人影がそこへ立ちはだかったんです。

新刊紹介

▲政界往來（六月號）政治家のスポーツ座談會、名氏の減俸是非等（價三十錢、東京市芝區琴平町二虎之門會館政界往來社）

▲滿蒙（六月號）價一圓、大連市紀伊町九十一番地中日文化協會

▲海外（六月號）價四十錢、東京市外落合町文化村海外社

▲大衆時代（六月號）價二十錢、東京千駄ケ谷原宿三〇五ノ衆時代社

▲旅（六月號）價四十錢、東京市神田區鍛冶町神田驛前日本旅行協會

▲身を殺して仁を爲す（山室軍平著）松田院長の小傳である（價十ヶ錢、東京神田區一ツ橋通町救世軍出版部）

▲植民（六月號）特輯として「大アマゾンの秘庫を語る」がある（價五十錢、東京市麴町區下六番町五十番地日本植民通信社）

▲婦人新報（五月號）價二十錢、東京市外大久保百人町日本基督教婦人矯風會本部

▲實業之世界（六月號）價四十五錢、東京市芝區愛宕三ノ三二實業之世界社

川柳募集課題

▽題「突」「日傘」「移轉」
▽句　一題五句必ず別紙
▽締　五月三十日着便
△宛　大連市能登町十高橋月南

けふの放送

大連　JQAK

五月廿九日午後七時

▲ニュース
▲露語講座（テキスト第九課）大連語學校講師グロースマン
▲謠曲（斑女）梅若流渡邊三策
▲箏曲（雲雀の曲）箏富森大檢校、同外山夫人、尺八奥村緑兩山
▲義太夫　壺坂靈驗記淨市内の段）淨瑠璃眞野捨吉、三味線片岡清次
▲中國劇（販馬計）遼東倶樂部々員
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京　JOAK

五月二十九日午後六時二十五分
▲趣味講座（今年の鮎釣）竹内順三郎▲三曲（八重衣）三絃菊原琴治、箏同初子、尺八倉川龜山▲哥澤哥澤芝勢以社中▲浪花節（雷電爲右衛門）木村重友

第卅六回　滿日勝繼碁戰（大磯氏一回勝二回目）

四子　近藤平利氏
三段　大磯義夫氏

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

〇八一チの九　●八二トの九
〇八三チの八　●八四への九
〇八五ホの九　●八六への十
〇八七への八　●八八ホの十
〇八九ホの八　●九〇二の十二
〇九一ロの四　●九二ロの三
〇九三ロの五　●九四チの四
〇九五トの三　●九六トの四
〇九七ホの三　●九八ホの四
〇九九リの四　●一〇〇ホの五

—【5】—